

消防試験研究センターだより vol.355

# Voice...7

2016



## top

危険物の事故防止と危険物取扱者

## こだま

石川県立小松工業高等学校

「工業教育での危険物取扱者等の資格取得を含めた人材育成の取り組みについて」

## 支部の広場

島根県支部からお届け

## 西ノ島・摩天崖

国賀海岸・摩天崖は海面から高さ257メートルにも及ぶ絶壁である。隠岐諸島は自然豊かな地形や固有の動植物、国分寺蓮華舞、牛突き、古典相撲などの独特な文化が残り、平成21年、世界ジオパークネットワークに加盟認定された。



## 出雲ぜんざい

出雲地方では、全国から集まった神々を送る旧暦11月の神等去出神事の際に、お供え餅と小豆と一緒に煮た小豆雑煮を神々にふるまったとされ、これを「神在餅」と呼んだ。この出雲弁が訛って「ぜんざい」となり、各地に伝わったと言われている



## おとりおさめちようぎん 御取収丁銀

石見銀山は平成19年ユネスコ世界産業文化遺産に登録された。戦国時代は尼子、毛利、大内氏の間で争奪戦が繰り返され、江戸時代には天領となった。石見銀山の最盛期に産出製錬された銀は遠く西欧にまで広まり、大航海時代の世界経済を支えた。



## 石見神楽・大蛇

島根県では神楽が盛んである。石見地方の神楽は、緩やかな調子の出雲神楽とは違い、八調子の速いテンポと勇壮な舞が特徴で、古くから民衆の生活と結びつき、今でも多くの社中があり、地域の代表的な伝統芸能である。石見神楽の流れは広島県北にまで及ぶ。

# Contents

001

## top

危険物の事故防止と危険物取扱者  
消防庁危険物保安室長  
秋葉 洋

003

## こだま

石川県立小松工業高等学校  
工業教育での危険物取扱者等の資格取得  
を含めた人材育成の取り組みについて

005

## 業務情報

平成27年度事業報告及び決算  
平成27年度の試験実施結果について  
平成27年度の免状作成等の状況について

025

## 支部の広場

島根県支部からお届け

027

## topic

年中行事と旧暦の話(その4)

山下 茂

明治大学 公共政策大学院ガバナンス研究科 教授  
元自治省(現・総務省)消防大学校長

合格体験記

033

## 消防庁の通知・通達等

036

## 業務報告

4・5月の試験実施結果・免状作成状況

表紙によせて

## 松江城天守閣／表紙上段

「松江城天守閣」・・・別名千鳥城。1611(慶長12)年、堀尾吉晴により宍道海岸亀田山に築城され、現存天守閣は平成27年(2014年)国宝に指定された。雲州松平藩七代藩主治郷(不昧公)は茶大名としても知られ、松江に茶文化を根付かせた。松江は京都、金沢と並び日本3代和菓子処としても有名である。

## 津和野町の鷺舞／表紙下段

「津和野の鷺舞」・・・四方を山に囲まれた城下町で優雅に舞われる鷺舞は京都八坂神社から伝ったとされ、津和野が山陰の小京都とも言われる所以でもある。文人森鴎外、法学者西周、新劇女優伊澤蘭馨、絵本作家安野光雅はこの町に生まれた。津和野の郷土料理「うずめ飯」は日本五大銘飯の一つ。



# 7 Voice...

消防試験研究センターだより

2016 July vol.355





## 2 事故防止の取組み

事故が増加し続けていることを受け、平成14年、消防庁では、学識経験者、消防機関、関係業界、関係団体の方々と「危険物等事故防止対策情報連絡会」を立ち上げ、「危険物施設の事故の件数及び被害を平成6年頃のレベル以下に減らす」という目標を掲げて、官民一体となって事故防止に向けて取り組んできました。全国の各地域（ブロック）においても関係者の方々に集まっていたが、消防庁の職員も加わり、事故防止のため情報交換等を行ってきたところ。しかし、残念ながら、10年が経過してもこの目標は達成できていない状況です。

そこで、より効果的な取組みとするために、連絡会における検討を踏まえ、今年3月に、「危険物等に係る重大事故の発生を防止すること」を事故防止対策の新たな目標とすることとされました。今後、消防庁においては、重大事故の発生件数の推移等から対策の効果を検証していくとともに、軽微な事故が多数発生するうちに重大事故も発生するという考え方（ハインリッヒの法則）を踏まえ、軽微な事故の発生を防止する方策についても検討していくこととしています。

## 3 危険物取扱者の関わり

消防庁においては、毎年、各消防本部から送付いただいた事故報告をとりまとめしております。

これを見ると様々な事故が発生していますが、危険物を直接取り扱っている従業員（危険物取扱者）の行為によって発生している事故も少なからずあります。その中には、危険物の性質、消防法令に規定されている安全対策など、危険物取扱者として当然知っているはずのことができていないものも見受けられます。特に、定常的でない作業を行っている場合に、この傾向があるように思われます。危険物取扱者の方には、自らが負傷するなど危険な状況に置かれる可能性があることも踏まえて、ご自身の業務について、扱っている危険物は何か、どんな危険性があるのか、必要な安全対策は講じられているのかについて今一度確認していただきたいと思っております。

また、作業方法を検討し、決定している方、さらには、装置や機器を設計されている方についても、危険物の性

質を十分把握したうえで業務を行っていただきたいと考えます。可能であれば、当該業務についても、危険物取扱者の資格を有する方に担ってもらいたいと考えます。

危険物を取り扱っている事業所に勤務されている危険物取扱者の皆様には、直接的、あるいは間接的に関わり方は様々と思われそうですが、危険物施設の事故の発生防止に力を発揮していただければ幸いです。

## 4 危険物に関わる知識の普及

私が子供の頃には、マッチ、シンナーなどは、どこの家でも使われていましたが、今は、こういった危ない物が身近なところから無くなっています。使わなくてよくなったことは、安全な世の中になったということであり、喜ぶべきことかもしれません。しかし、子供時代に、ちょっとした火傷をしたり、傷を作ったりしながら、体得してきた知識が得られなくなったということになります。今も、安全な世の中になったとは言え、身の回りには、危険性を有する物がなくなったわけではありません。自分や家族の安全のため、必要な知識は持って置いて欲しいと思っております。

現在では、危険性の高いガソリンも、セルフスタンドにおいては自分で給油できるようになっています。もちろん事故が発生しないように様々な安全対策が講じられているからですが、扱っているガソリン自体の危険性が変わったわけではありません。給油についてもガソリンの危険性を知った上で行って欲しいと思っております。

危険物に関する知識を身につけるには、危険物取扱者の資格の取得にチャレンジすることも有効な方法と考えられます。高校生や大学生など若い方には、この資格を取得し、危険物に関する知識を持って社会に出て行っていただきたいと考えます。

## 5 おわりに

危険物を安全に使っていくためには、危険物取扱者をはじめとする多くの方の力が必要です。消防庁では、今後も、関係の方々とともに危険物行政を進めていきたいと考えております。ご協力をお願いします。



石川県立小松工業高等学校

## 工業教育での危険物取扱者等の資格取得 を含めた人材育成の取り組みについて

上谷 雅浩 (かみや まさひろ)  
石川県立小松工業高等学校電気科

### 1. はじめに(学校紹介)

本校は、工業の専門高校として、地元産業の発展に貢献できる意欲的な生徒の育成を目指し、昭和14年に創立され77年目を迎えた、南加賀唯一の工業高校です。

地域には製造業等が多数あるため約8割の生徒が地元中心に就職し、就職内定率は100%を続けています。

卒業生は2万名に迫り、特に人脈が連綿と受け継がれる地元企業では中核を担う人材を輩出し続けています。

人材育成の一環として、企業連携、中高・高大連携、学警連携等に積極的に取り組み、実践的な工業技術、規範意識やマナーの醸成を図っています。また部活動の活性化を推進し、ハンドボール部、陸上競技部、少林寺拳法部、山岳部、ボウリング部、ウエイトリフティング部などが全国大会の常連で活躍しており、2年続けて県の高校総体では男子優秀校となりました。文化部でも吹奏楽部がマーチングバン

ドとして全国総合文化祭にしばしば出場、機械研究部は高校生ものづくりコンテスト(旋盤作業部門)において、近年常に県大会では優勝しており、平成24年には全国優勝を果たしました。

以上のように本校は、地域から信頼される工業の専門高校たるべく心身ともにタフな人材育成に努めています。

### 2. 本校の学科改編について

工業高校では全国どこでも、社会の変化や産業界の技術進展に対応すべく学科改編が繰り返されます。本校でも平成年度以降は2年度、6年度、8年度と改編を行い、6学科24クラス規模から18クラスへと変わりました。近年の改編期の様子は表1に示す通りで、現在4学科18クラス約720名の生徒が学んでいます。

■表1 小松工業高校における近10年間の学科設置状況

H19	機械システム	電 気		電子情報	建 築	土 木		マテリアル	
H20	機械システム	機械テクニカル	電 気		電子情報	建 築	土 木	建築土木	マテリアル
H21	機械システム	機械テクニカル		電 気		電子情報	建築	土木	建築土木
H22	機械システム	機械テクニカル		電 気		電子情報	建築土木		マテリアル
H23	機械システム	機械テクニカル		電 気		電子情報	建築土木		マテリアル
H24	機械システム	機械テクニカル		電 気		電子情報	建築土木		マテリアル
H25	機械システム	機械テクニカル	機 械		電 気		電子情報	建築土木	建設
H26	機械システム	機械テクニカル	機 械		電 気		電子情報	建築土木	建設
H27	機 械			電 気			建 設		材料化学
H28	機 械			電 気			建 設		材料化学

### 3. 近年の国家資格や危険物取扱者の受験状況について

全国工業高等学校長協会附属工業教育研究所の「平成26年度国家資格取得状況調査結果」(回答率95%)によると、全国の工業高校等での延べ人数計算では、

- 全国564校(約288千人)で国家資格を約231千人受験、約132千人合格、合格率57.2%
- 危険物取扱者試験で最初に受験する乙種第4類で、受験者57,080人、合格者11,556人、国家資格受験の約4分の1を占め、合格率20.25%

これに対し石川県(工業部会所属10校)の延べでは、

- 国家資格を4,996人が受験、合格は2,854人、合格率57.1%(H26)
- 危険物取扱者乙種4類の合格率22%(H27)

となっています。人口割合等では「百分の一スケール」の石川県ですが、工業を学ぶ生徒はその倍(約五十分の一)くらいの比率がいて、国家資格受験率はやや高め、合格率は平均並み、といった状況がうかがえます。

また本校の26年度国家資格延べ人数は1,121人受験で578人合格、合格率51.6%となっており、受験挑戦者はかなり多く、合格率は中程度でした。

そして危険物取扱者試験の過去5年間の結果は表2のように、年度でばらつきもありますが、概ね乙種第4類の取り組み率も合格率も平均的といえると思います。

甲種は挑戦者も途絶えましたが、一昨年に他校で県5人目の合格者を指導した先生もいるので今後に期待です。

### 4. おわりに(現在とこれから)



本校の校訓は、校舎正面の碑(上写真)のように、「質実剛健 自重自治」です。

本稿で述べてきた資格取得の奨励・指導も、単なる免許状や合格証の入手価値に留まらず、「質実」なる確かな実力と「剛健」なタフさを備えた「自ら考えて、行動する人材」を育成していく営みの一環に他なりません。また時代の変化が激しいからこそ、それに翻弄されて自分の方向性を見失わない「自重自治」という自らの制御が最も大切な資質になってきていると感じます。また今年度は、高度熟練技術者による「社会人になるための心構え」と題した講話を全学年に系統的に展開しながら、卒業後も激動の荒波の中をたくましく生き抜き、新たな未来社会の創造に寄与できるよう、「心と技を磨く」基本精神の醸成・陶冶に職員一丸で取り組んでいます。

■表2 小松工業高校における過去5年間の危険物取扱者試験の受験動向と結果

年度	甲種 受験	乙種												丙種		
		全類		1類		2類		3類		4類		5類				6類
		合格	受験	合格	受験	合格	受験	合格	受験	合格	受験	合格	受験	合格	受験	合格
5年合計	2	143	245	182	207	172	184	128	1198	258	208	150	224	163	153	82
			74%		83%		70%		22%		72%		73%		54%	
H27	0	27	21	15	19	15	8	6	188	31	8	6	18	10	0	
			71%		79%		75%		16%		75%		56%			
H26	0	34	66	44	38	28	53	26	290	30	75	48	50	30	40	5
			67%		74%		49%		10%		64%		60%		13%	
H25	0	6	50	32	14	8	7	5	196	63	6	5	18	11	37	21
			64%		57%		71%		32%		83%		61%		57%	
H24	0	61	78	70	81	76	19	11	254	75	16	9	100	86	39	27
			90%		94%		58%		30%		56%		86%		69%	
H23	2	15	30	21	55	45	97	80	270	59	103	82	38	26	37	29
			70%		82%		82%		22%		80%		68%		78%	

# 事業報告書

## 第1 概況

### (1) 新業務情報システムへの移行

平成27年4月から新業務情報システムへ移行し、従前のシステムの機能を保ちながら、サーバー等のシステム機器類を最新のものに更新し、システム基盤の再構築、採点システム及び経理システムの改修を行い、円滑に稼働している。

### (2) 試験事業の状況

危険物取扱者試験の受験申請者数は、平成21年度から連続して減少となった。これは、少子化、特に高校生の減少やエネルギー需要等の社会情勢の変化に伴う危険物施設の減少などの影響によるものと推測される。消防設備士試験の受験申請者数は、やや増加した。これは、資格を必要とする社会情勢等によるものと推測される。予防技術検定の受検申請者数は増加した。これは、各消防本部において、予防技術資格者のうち、勤続年数が高い職員が退職することに伴い、資格者の充足率の低下が見込まれることから、資格者確保に向けて受検者を増加させていることによるものと推測される。

危険物取扱者試験の受験申請者数は44万1千906人で、前年度(45万5千212人)から1万3千306人減少(減少率2.9%)し、消防設備士試験の受験申請者数は10万7千804人で、前年度(10万4千224人)から3千580人増加(増加率3.4%)した。

危険物取扱者試験と消防設備士試験の受験申請者の合計は54万9千710人で、前年度(55万9千436人)から9千726人減少(減少率1.7%)した。

予防技術検定の受検申請者数は7千858人で、前年度(7千151人)から707人増加(増加率9.9%)した。

### (3) 免状事業の状況

免状業務については、全ての都道府県と受託契約して、免状作成等の事務を行うとともに、37都県と受託契約し、写真書換え未了者に対する書換え促進通知業務を行った。

免状作成事務等の処理件数は、新規免状の作成、免状の書換え(写真書換えを含む)、再交付免状の作成を含めて、危険物取扱者が26万5千757件(前年度27万8千640件)で、対前年度比1万2千883件の減少(減少率4.6%)、消防設備士が4万1千111件(前年度4万2千319件)で、対前年度比1千308件の減少(減少率3.1%)であり、合計30万6千768件(前年度32万959件)で、対前年度比1万4千191件の減少(減少率4.4%)となった。

## 第2 個別的事業

### 1 試験事業

(1) 危険物取扱者試験を全都道府県で、次のとおり実施した。

ア 試験実施回数 (単位：回)

	甲種	乙種							丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
当年度	282	374	368	384	709	385	390	2,610	399	3,291
前年度比	△6	8	△7	2	40	3	13	59	19	72

イ 受験申請者数・合格者数等

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
当年度	441,906	401,096	152,111	37.9%
前年度比	△13,306	△13,910	△6,803	△0.4

(2) 消防設備士試験を全都道府県で、次のとおり実施した。

ア 試験実施回数

① 甲種

(単位：回)

	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	合計
当年度	98	120	108	110	128	108	672
前年度比	4	6	3	3	7	3	26

② 乙種

(単位：回)

	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	合計
当年度	109	100	100	126	103	134	116	788
前年度比	5	6	2	3	3	5	1	25

イ 受験申請者数・合格者数等

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
当年度	107,804	84,848	27,516	32.4%
前年度比	3,580	1,738	△ 3,309	△ 4.7

(3) 試験実施回数、受験申請者数、受験者数及び合格者数等の合計は、次のとおりであった。

		試験実施回数(回)	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
危険物取扱者	当年度	3,291	441,906	401,096	152,111	37.9%
	前年度比	72	△ 13,306	△ 13,910	△ 6,803	△ 0.4
消防設備士	当年度	1,460	107,804	84,848	27,516	32.4%
	前年度比	51	3,580	1,738	△ 3,309	△ 4.7
合計	当年度	4,751	549,710	485,944	179,627	
	前年度比	123	△ 9,726	△ 12,172	△ 10,112	

(4) 予防技術検定を全都道府県で、次のとおり実施した。

平成27年度（第11回目）

		受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
防火査察	当年度	4,355	4,064	1,412	34.7%
	前年度比	428	326	△ 553	△ 17.9
消防用設備等	当年度	1,910	1,779	626	35.2%
	前年度比	50	42	△ 65	△ 4.6
危険物	当年度	1,593	1,485	788	53.1%
	前年度比	229	189	174	△ 5.7
合計	当年度	7,858	7,328	2,826	38.6%
	前年度比	707	557	△ 444	△ 9.7

(5) 電子申請者数は、次のとおりであった。

		電子申請者数(人)	受験申請者数(人)	電子申請率
危険物取扱者	当年度	111,452	441,906	25.2%
	前年度	102,234	455,212	22.5%
	前年度比	9,218	△ 13,306	2.7
消防設備士	当年度	32,779	107,804	30.4%
	前年度	29,741	104,224	28.5%
	前年度比	3,038	3,580	1.9
合計	当年度	144,231	549,710	26.2%
	前年度	131,975	559,436	23.6%
	前年度比	12,256	△ 9,726	2.6



- (6) 過去に出題した試験問題の公開について、平成27年5月22日に「試験問題の公開に係る検討委員会」において審議し、平成27年6月20日から、ホームページ上で公開している過去の出題問題の追加・更新を行った。

この結果、平成27年度末現在、危険物取扱者試験については140問、消防設備士試験については64問をホームページ上で公開している。

- (7) 支部試験実施状況調査を、12支部において実施した。

(調査実施支部)

宮城県、福島県、埼玉県、富山県、京都府、奈良県、鳥取県、愛媛県、福岡県、大分県

(追加調査実施支部)

静岡県、兵庫県

## 2 免状事業

- (1) 免状作成業務等の受託については、全ての都道府県と受託契約し、新規免状の作成、免状の書換え及び再交付免状の作成を行うとともに、免状データベースに登録した。

ア 免状作成事務等の処理状況 (単位：件)

		新規交付	書換え		再交付	合計
			写真	写真以外		
危険物取扱者	当年度	147,966	104,558	1,726	11,507	265,757
	前年度比	△ 8,500	△ 4,270	△ 43	△ 70	△ 12,883
消防設備士	当年度	27,470	12,317	209	1,015	41,011
	前年度比	△ 1,675	296	2	69	△ 1,308
合計	当年度	175,436	116,875	1,935	12,522	306,768
	前年度比	△ 10,175	△ 3,974	△ 41	△ 1	△ 14,191

イ 免状データベースの登録件数の累計は、次のとおりとなった。

	登録件数の累計(件)
危険物取扱者	7,350,039
消防設備士	923,232
合計	8,273,271

- (2) 37都県と受託契約し、写真書換え未了者に対する書換え促進通知業務を行い、9万5千139人に通知（危険物取扱者 8万8千629人、消防設備士 6千510人）した。うち2万2千576人（23.7%）が写真書換えを申請した。

(受託都県)

青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、三重県、滋賀県、奈良県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

- (3) 全都道府県との覚書により、免状データベースへの講習履歴の収録を、次のとおり行った。

	講習履歴の収録件数(件)
危険物取扱者	204,226
消防設備士	48,699
合計	252,925

### 3 調査研究事業

(1) 調査研究事業を、次のとおり行った。

ア 危険物取扱有資格者の将来における需要動向等に関する調査検討

危険物取扱者試験の受験申請者数が減少している実態を踏まえ、当センターの運営基盤の安定的な維持に資するため、危険物取扱者資格を有する者の今後の需要動向及び受験申請者数の動向等について調査を行うとともに、学識経験者等からなる委員会を設け、危険物取扱者資格を有する者の需要を拡大する方策について検討を行い、その方向性を「危険物取扱有資格者の将来における需要動向等に関する検討委員会報告書」として取りまとめた。

イ 消防設備士試験受験者の動向及びニーズに関する調査研究

平成26年度に消防設備士試験受験者の今後の動向予測を人口統計、消防用設備に関する消防統計等既存の社会統計を分析し、調査を通じて取りまとめた。平成27年度は引き続き、アンケート方式による実態調査を実施し、消防設備士試験の受験者に対する啓発、広報を行うための基礎的資料として取りまとめた。

(2) 広報活動を、次のとおり行った。

ア 試験及び電子申請の広報用並びに写真書換え制度のポスター等を、次のとおり作成して受験者の確保並びに電子申請、写真書換え制度の周知を図った。

(作成数量)

① 資格取得広報用のポスター	20,000枚
② 資格取得広報用のパンフレット	120,000部
③ 資格取得推進用リーフレット	107,000部
(危険物取扱者、消防設備士それぞれのリーフレットを作成)	
④ 試験実施日程パンフレット	67,000部
⑤ 電子申請促進用リーフレット	87,000枚
⑥ 写真書換え促進用のポスター	15,000枚
⑦ 写真書換え促進用のリーフレット	107,000枚

(配布先)

都道府県、消防機関、消防関係団体、学校連絡会、報道関係各社等

イ 広報誌「消防試験研究センターだよりVoice.」を、次のとおり発行して配布した。

(作成数量)

隔月 3,000部

(配布先)

都道府県、消防機関、消防関係団体、学校連絡会、報道関係各社等

ウ 消防関係の専門誌等の広報媒体を活用して広報活動を行った。

(3) 「平成26年度危険物取扱者試験、消防設備士試験・免状統計表」を、次のとおり作成して配布した。

(作成数量)

350部

(配布先)

消防庁、都道府県

(4) 今後の業務情報システムのあり方についての検討を行った。

次期業務情報システムの更新に向け、更なる利便性の向上に資するため、各部課長による検討会を立ち上げ、検討を開始した。

(5) 役職員による個人情報の厳格な管理、利用の安全性の確保について徹底するとともに、受験者情報を扱うデータエントリー委託業者に対する厳正な管理・監督の徹底を図った。

## 4 その他事業

- (1) 業務監査を、15支部において実施するとともに、公認会計士による外部監査を、3支部において実施した。

(業務監査実施支部)

青森県、岩手県、茨城県、神奈川県、山梨県、長野県、大阪府、兵庫県、和歌山県、岡山県、徳島県、香川県、熊本県、宮崎県、鹿児島県

(外部監査実施支部)

愛知県、滋賀県、高知県

- (2) 試験業務及び免状業務の円滑な執行を図るため、全国支部長会議を1回、ブロック幹事支部長会議を1回それぞれ東京で開催するとともに、都道府県消防主管課の出席を得て、全国7ヶ所でブロック支部長会議を開催し、業務説明と意見交換を行った。

(ブロック支部長会議開催地)

ブロック名	開催地	開催日
北海道・東北	宮城県	平成27年9月17日
関東・甲信越	茨城県	平成27年9月3日
中部	三重県	平成27年10月8日
近畿	兵庫県	平成27年9月29日
中国	広島県	平成27年9月10日
四国	徳島県	平成27年10月29日
九州	鹿児島県	平成27年10月13日

- (3) 消防防災推進事業助成を、74事業に対して行った。
- (4) 関係官庁、関係機関及び諸団体との連絡調整を行った。

## 第3 評議員会及び理事会の開催に関する事項

### 1 評議員会

- (1) 第6回評議員会（平成27年6月25日（木）開催）
- 評議員の選任  
大野博見氏
- 理事の選任  
北村吉男氏、田口尚文氏、長澤良治氏、福井昭久氏
- 監事の選任  
檜垣誠司氏
- 平成26年度事業報告の報告及び平成26年度決算の承認  
公益目的支出計画実施報告書の報告
- (2) 第7回評議員会（平成27年8月25日（火）開催）
- 評議員の選任  
須貝俊司氏
- 理事の選任  
上関克也氏

- (3) 第8回評議員会（平成27年10月7日（水）開催）  
「公益目的支出計画の変更について」報告
- (4) 第9回評議員会（平成28年3月24日（木）開催）  
「一般財団法人消防試験研究センター評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規程の一部改正について」承認

## 2 理事会

- (1) 第11回理事会（平成27年6月10日（水）開催）  
理事長（代表理事）及び常務理事（業務執行理事）の職務執行状況報告  
平成26年度事業報告の承認及び平成26年度決算の決定  
公益目的支出計画実施報告書の承認  
評議員会招集の決定
- (2) 第12回理事会（平成27年6月26日（金）開催）  
理事長の選定  
北村吉男氏  
常務理事の選定  
田口尚文氏
- (3) 第13回理事会（平成27年8月12日（水）開催）  
評議員会招集の決定
- (4) 第14回理事会（平成27年9月29日（火）開催）  
「公益目的支出計画の変更について」承認  
評議員会招集の決定
- (5) 第15回理事会（平成28年3月14日（月）開催）  
理事長（代表理事）及び常務理事（業務執行理事）の職務執行状況報告  
平成28年度事業計画及び平成28年度収支予算の承認  
評議員会招集の決定

## 附属明細書

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

# 平成27年度決算書

## 貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金	880,598,160	1,060,194,948	△ 179,596,788
未収金	68,806,123	94,571,700	△ 25,765,577
前払金	23,123,058	34,654,063	△ 11,531,005
貯蔵品	14,321,592	36,032,688	△ 21,711,096
立替金	1,600	0	1,600
<b>流動資産合計</b>	<b>986,850,533</b>	<b>1,225,453,399</b>	<b>△ 238,602,866</b>
<b>2 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
普通預金	708,406,042	879,786,042	△ 171,380,000
定期預金	200,000,000	200,000,000	0
投資有価証券	2,121,593,958	1,950,213,958	171,380,000
<b>基本財産合計</b>	<b>3,030,000,000</b>	<b>3,030,000,000</b>	<b>0</b>
<b>(2) 特定資産</b>			
役員退職慰労引当資産	8,587,200	15,770,000	△ 7,182,800
退職給付引当資産	305,274,125	263,538,611	41,735,514
減価償却引当資産	258,676,244	95,195,616	163,480,628
<b>特定資産合計</b>	<b>572,537,569</b>	<b>374,504,227</b>	<b>198,033,342</b>
<b>(3) その他固定資産</b>			
建物附属設備	8,917,149	13,459,151	△ 4,542,002
什器備品	183,153,049	230,372,104	△ 47,219,055
リース資産	979,650	2,938,950	△ 1,959,300
ソフトウェア	289,762,845	393,812,646	△ 104,049,801
電話加入権	168,000	196,000	△ 28,000
敷金	22,255,044	22,188,918	66,126
保証金	30,000	30,000	0
<b>その他固定資産合計</b>	<b>505,265,737</b>	<b>662,997,769</b>	<b>△ 157,732,032</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>4,107,803,306</b>	<b>4,067,501,996</b>	<b>40,301,310</b>
<b>資産合計</b>	<b>5,094,653,839</b>	<b>5,292,955,395</b>	<b>△ 198,301,556</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	30,355,767	44,086,355	△ 13,730,588
前受金	12,685,601	0	12,685,601
預り金	22,572,297	22,890,004	△ 317,707
リース債務	1,142,925	1,959,300	△ 816,375
特別手当引当金	52,779,263	52,167,000	612,263
<b>流動負債合計</b>	<b>119,535,853</b>	<b>121,102,659</b>	<b>△ 1,566,806</b>
<b>2 固定負債</b>			
リース債務	0	1,142,925	△ 1,142,925
役員退職慰労引当金	8,587,200	15,770,000	△ 7,182,800
退職給付引当金	305,274,125	263,538,611	41,735,514
<b>固定負債合計</b>	<b>313,861,325</b>	<b>280,451,536</b>	<b>33,409,789</b>
<b>負債合計</b>	<b>433,397,178</b>	<b>401,554,195</b>	<b>31,842,983</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1 指定正味財産</b>			
出捐金	128,500,000	128,500,000	0
<b>指定正味財産合計</b>	<b>128,500,000</b>	<b>128,500,000</b>	<b>0</b>
(うち基本財産への充当額)	(128,500,000)	(128,500,000)	0
<b>2 一般正味財産</b>			
(うち基本財産への充当額)	(2,901,500,000)	(2,901,500,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(258,676,244)	(95,195,616)	(163,480,628)
<b>正味財産合計</b>	<b>4,661,256,661</b>	<b>4,891,401,200</b>	<b>△ 230,144,539</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>5,094,653,839</b>	<b>5,292,955,395</b>	<b>△ 198,301,556</b>

業務  
情報

information

## 正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	30,495,331	89,581,821	△ 59,086,490
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	0	330,727	△ 330,727
③ 受取試験手数料	2,000,172,200	2,049,117,240	△ 48,945,040
危険物取扱者試験手数料	1,507,642,400	1,574,862,182	△ 67,219,782
消防設備士試験手数料	453,134,800	438,430,058	14,704,742
予防技術検定手数料	39,395,000	35,825,000	3,570,000
④ 受取免状受託料	500,170,546	525,152,132	△ 24,981,586
危険物取扱者免状受託料	423,202,775	444,392,393	△ 21,189,618
消防設備士免状受託料	68,261,105	71,312,134	△ 3,051,029
写真書換促進業務受託料	8,706,666	9,447,605	△ 740,939
⑤ 雑収益	1,722,376	1,442,013	280,363
受取利息	451,507	214,255	237,252
証紙等手数料	336,372	323,275	13,097
免状交付等手数料徴収事務受託料	889,137	889,137	0
雑収益	45,360	15,346	30,014
経常収益計	2,532,560,453	2,665,623,933	△ 133,063,480
(2) 経常費用			
① 事業費	2,785,554,442	2,790,327,561	△ 4,773,119
役員報酬	22,917,821	23,822,914	△ 905,093
給料手当	991,929,168	983,871,272	8,057,896
法定福利費	150,589,131	147,817,957	2,771,174
福利厚生費	24,133,196	22,655,008	1,478,188
試験監督員賃金	222,012,021	215,502,959	6,509,062
臨時雇賃金	51,570,635	45,511,917	6,058,718
特別手当引当金繰入額	49,874,720	48,797,000	1,077,720
役員退職慰労引当金繰入額	3,079,560	2,929,440	150,120
退職給付費用	50,503,620	31,214,103	19,289,517
諸謝金	9,249,856	8,281,757	968,099
事務所等賃借料	166,094,563	175,400,693	△ 9,306,130
試験会場賃借料	88,324,473	77,156,339	11,168,134
事業負担金	10,000,000	10,000,000	0
リース料	29,119,909	16,844,715	12,275,194
光熱水料費	13,585,278	14,250,428	△ 665,150
通信運搬費	167,811,111	173,338,796	△ 5,527,685
印刷製本費	147,875,616	176,198,703	△ 28,323,087
委託費	209,999,445	98,138,714	111,860,731
保守管理費	5,592,464	107,410,180	△ 101,817,716
旅費交通費	44,682,646	45,953,552	△ 1,270,906
電子申請試験手数料収納費	26,125,903	25,770,819	355,084
消耗什器備品費	0	692,584	△ 692,584
消耗品費	45,769,923	58,532,504	△ 12,762,581
会議費	21,637,214	26,903,627	△ 5,266,413
広告費	27,830,292	25,980,374	1,849,918
消防防災等推進事業助成金	37,868,466	29,820,518	8,047,948
諸会費	938,245	1,065,231	△ 126,986
災害保険料	1,163,570	1,519,530	△ 355,960
租税公課	14,580,449	18,238,997	△ 3,658,548
減価償却費	133,629,035	157,674,788	△ 24,045,753
雑費	17,066,112	19,032,142	△ 1,966,030

科目	当年度	前年度	増減
② 管理費	103,646,467	119,662,221	△ 16,015,754
役員報酬	22,131,621	22,993,903	△ 862,282
給料手当	28,200,883	31,911,684	△ 3,710,801
法定福利費	8,078,932	6,660,100	1,418,832
福利厚生費	1,534,953	3,185,883	△ 1,650,930
臨時雇賃金	2,593,707	2,151,928	441,779
特別手当引当金繰入額	2,904,543	3,370,000	△ 465,457
役員退職慰労引当金繰入額	2,936,040	2,796,960	139,080
退職給付費用	1,488,929	822,255	666,674
諸謝金	1,298,936	1,098,457	200,479
事務所等賃借料	12,886,223	12,886,218	5
運営負担金	3,800,000	3,800,000	0
リース料	136,522	2,267,055	△ 2,130,533
光熱水料費	746,442	765,637	△ 19,195
通信運搬費	940,022	884,844	55,178
印刷製本費	526,542	1,354,119	△ 827,577
委託費	2,190,524	386,383	1,804,141
保守管理費	462,676	335,767	126,909
旅費交通費	1,253,215	1,442,382	△ 189,167
消耗品費	1,232,066	1,245,934	△ 13,868
会議費	1,133,055	1,042,247	90,808
広告費	17,064	478,080	△ 461,016
諸会費	111,178	93,439	17,739
災害保険料	163,380	0	163,380
租税公課	6,554,222	17,276,686	△ 10,722,464
雑費	324,792	412,260	△ 87,468
経常費用計	2,889,200,909	2,909,989,782	△ 20,788,873
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 356,640,456	△ 244,365,849	△ 112,274,607
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 356,640,456	△ 244,365,849	△ 112,274,607
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 基本財産投資有価証券償還益			
基本財産投資有価証券償還益	151,380,000	582,625,000	△ 431,245,000
経常外収益計	151,380,000	582,625,000	△ 431,245,000
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	24,856,083	0	24,856,083
建物附属設備除却損	520,581	0	520,581
什器備品除却損	2	0	2
ソフトウェア除却損	24,335,500	0	24,335,500
② 固定資産評価損			
電話加入権評価損	28,000	0	28,000
経常外費用計	24,884,083	0	24,884,083
当期経常外増減額	126,495,917	582,625,000	△ 456,129,083
当期一般正味財産増減額	△ 230,144,539	338,259,151	△ 568,403,690
一般正味財産期首残高	4,762,901,200	4,424,642,049	338,259,151
一般正味財産期末残高	4,532,756,661	4,762,901,200	△ 230,144,539
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	128,500,000	128,500,000	0
指定正味財産期末残高	128,500,000	128,500,000	0
III 正味財産期末残高	4,661,256,661	4,891,401,200	△ 230,144,539

# 平成27年度の試験実施結果について —業務部—

当センターが平成27年度に実施した、危険物取扱者試験、消防設備士試験及び予防技術検定の試験実施結果は次のとおりです。

## 1 危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施結果の概要

危険物取扱者試験及び消防設備士試験の全国における試験実施回数及び受験申請者等の状況は(表1)のとおりです。受験申請者の利便性の向上を図るため、年々試験実施回数を増加させて受験機会を増やしていますが、危険物取扱者試験の受験申請者数は、ここ数年減少傾向を示しています。

■ 表1 危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施結果 (単位：回、人)

年 度	区 分	危険物取扱者試験	消 防 設 備 士 試 験	合 計
平成25年度	試験実施回数	3,209	1,387	4,596
	申請者数	477,212	101,405	578,617
	受験者数	435,935	80,891	516,826
	合格者数	177,160	28,521	205,681
平成26年度	試験実施回数	3,219	1,409	4,628
	申請者数	455,212	104,224	559,436
	受験者数	415,006	83,110	498,116
	合格者数	158,914	30,825	189,739
平成27年度	試験実施回数	3,291	1,460	4,751
	申請者数	441,906	107,804	549,710
	受験者数	401,096	84,848	485,944
	合格者数	152,111	27,516	179,627
対前年度	試験実施回数	+72	+51	+123
	申請者数	- 13,306	+3,580	- 9,726
	受験者数	- 13,910	+1,738	- 12,172
	合格者数	- 6,803	- 3,309	- 10,112

## 2 危険物取扱者試験の実施状況

### (1) 試験実施回数の状況 (表2)

試験実施回数は、3,291回で、前年度の3,219回に比べ72回増加しました。

■ 表2 危険物取扱者試験の実施回数 (単位：回)

年 度	甲 種	乙 種							丙 種	合 計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小 計		
平成25年度	283	377	374	388	662	376	379	2,556	370	3,209
平成26年度	288	366	375	382	669	382	377	2,551	380	3,219
平成27年度	282	374	368	384	709	385	390	2,610	399	3,291
対前年度	-6	+8	-7	+2	+40	+3	+13	+59	+19	+72



## (2) 種類別受験申請者の状況 (表3)

全受験申請者数は441,906人と、前年度に比べ13,306人の減少となりました。種類別に増減数を見ると、全ての類にわたって減少傾向が見られます。

乙種第4類は、ガソリン、灯油、重油等の最も一般的な危険物の取扱い等に必要な資格であることから、種類別受験申請者数ではその数が303,615人(全体の68.7%)と最も多くなっています。この傾向は例年どおりです。

■ 表3 危険物取扱者試験の種類別受験申請者の状況 (単位：人，%)

年度	区分	甲種	乙種							丙種	合計
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
平成25年度	申請者	29,092	17,356	16,248	18,264	315,347	18,745	20,988	406,948	41,172	477,212
	構成割合	6.1	3.6	3.4	3.8	66.1	3.9	4.4	85.3	8.6	100
平成26年度	申請者	27,600	15,234	14,636	16,241	307,106	16,523	18,364	388,104	39,508	455,212
	構成割合	6.1	3.3	3.2	3.6	67.5	3.6	4.0	85.3	8.7	100
平成27年度	申請者	26,658	13,951	13,581	15,008	303,615	14,660	16,591	377,406	37,842	441,906
	構成割合	6.0	3.2	3.1	3.4	68.7	3.3	3.8	85.4	8.6	100
対前年度	申請者	-942	-1,283	-1,055	-1,233	-3,491	-1,863	-1,773	-10,698	-1,666	-13,306

## (3) 種類別合格率の状況 (表4)

全体の合格率は37.9%であり、前年度と比較すると、0.4ポイントの減少でした。

種類ごとの合格率を見ると、甲種が32.2%、乙種第4類が29.4%と、例年同様他の種類と比較して低い値となっています。

■ 表4 危険物取扱者試験の種類別合格率 (単位：人，%)

年度	区分	甲種	乙種							丙種	合計
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
平成25年度	受験者	25,395	16,721	15,756	17,592	283,193	18,123	20,383	371,768	38,772	435,935
	合格者	8,424	11,362	10,539	11,793	90,061	12,400	13,247	149,402	19,334	177,160
	合格率	33.2	68.0	66.9	67.0	31.8	68.4	65.0	40.2	49.9	40.6
平成26年度	受験者	24,022	14,690	14,161	15,631	275,415	16,007	17,784	353,688	37,296	415,006
	合格者	7,889	9,889	9,535	10,554	80,347	10,987	11,620	132,932	18,093	158,914
	合格率	32.8	67.3	67.3	67.5	29.2	68.6	65.3	37.6	48.5	38.3
平成27年度	受験者	22,905	13,456	13,105	14,397	271,234	14,122	16,085	342,399	35,792	401,096
	合格者	7,381	8,962	8,592	9,728	79,718	9,593	10,521	127,114	17,616	152,111
	合格率	32.2	66.6	65.6	67.6	29.4	67.9	65.4	37.1	49.2	37.9

## (4) 職業別受験状況 (表5-1、表5-2)

受験申請者の職業別構成(表5-1)を見ると、高校生が最も多く全体の34.3%を占めるなど、その割合は前年度とほぼ同様の傾向が見られますが、高校生の受験申請者数は13,507人の減少、その割合は2.0ポイントの減少でした(平成26年度は165,207人36.3%)。また、高校生の甲種受験申請者は1,011人(前年度1,176人)でした。

平成17年度、22年度と比較(表5-2)すると高校生の受験申請者が、その人数、割合ともに大きく減少している事や、ガソリンスタンド職員の受験申請者数も、減少傾向にあることがわかります。

■ 表 5-1 危険物取扱者試験の職業別受験状況

(単位：人，%)

職業等	区分	甲種	乙種							丙種	合計	申請者の 構成割合
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計			
高校生	申請者	1,011	6,961	5,880	5,707	89,404	5,708	8,413	122,073	28,616	151,700	34.3
	受験者	987	6,878	5,797	5,622	85,994	5,622	8,303	118,216	27,538	146,741	
	合格者	141	4,174	3,497	3,443	15,301	3,369	4,690	34,474	12,230	46,845	
	合格率	14.3	60.7	60.3	61.2	17.8	59.9	56.5	29.2	44.4	31.9	
高校以外の 学生、 教育・研究機関	申請者	4,224	468	418	654	21,191	578	538	23,847	925	28,996	6.6
	受験者	3,776	450	402	630	18,695	554	521	21,252	862	25,890	
	合格者	1,540	313	267	433	6,972	410	383	8,778	535	10,853	
	合格率	40.8	69.6	66.4	68.7	37.3	74.0	73.5	41.3	62.1	41.9	
ガソリン スタンド	申請者	106	54	57	72	25,421	74	61	25,739	1,101	26,946	6.1
	受験者	88	50	54	67	21,969	69	58	22,267	995	23,350	
	合格者	18	32	34	35	4,706	43	39	4,889	493	5,400	
	合格率	20.5	64.0	63.0	52.2	21.4	62.3	67.2	22.0	49.5	23.1	
化学工業	申請者	8,121	750	1,048	1,053	11,766	1,377	759	16,753	40	24,914	5.6
	受験者	7,156	718	1,003	1,000	10,451	1,320	726	15,218	34	22,408	
	合格者	2,396	494	647	676	3,137	883	541	6,378	30	8,804	
	合格率	33.5	68.8	64.5	67.6	30.0	66.9	74.5	41.9	88.2	39.3	
危険物の 卸売業、 小売業	申請者	200	159	152	143	8,370	134	154	9,112	621	9,933	2.2
	受験者	160	147	148	137	7,144	124	142	7,842	559	8,561	
	合格者	47	105	101	96	2,359	94	93	2,848	405	3,300	
	合格率	29.4	71.4	68.2	70.1	33.0	75.8	65.5	36.3	72.5	38.5	
危険物の 搬送業	申請者	140	196	233	222	4,375	196	337	5,559	639	6,338	1.4
	受験者	106	186	217	202	3,751	184	319	4,859	541	5,506	
	合格者	28	127	150	133	958	133	201	1,702	299	2,029	
	合格率	26.4	68.3	69.1	65.8	25.5	72.3	63.0	35.0	55.3	36.9	
危険物を扱う その他の事業	申請者	5,537	1,527	2,140	1,928	58,808	1,931	1,931	68,265	1,446	75,248	17.0
	受験者	4,700	1,455	2,033	1,824	51,541	1,845	1,843	60,541	1,288	66,529	
	合格者	1,452	1,019	1,359	1,296	16,952	1,314	1,281	23,221	895	25,568	
	合格率	30.9	70.0	66.8	71.1	32.9	71.2	69.5	38.4	69.5	38.4	
公務員	申請者	1,316	947	877	1,345	14,814	1,071	992	20,046	447	21,809	4.9
	受験者	1,093	896	835	1,265	13,360	1,017	948	18,321	416	19,830	
	合格者	351	700	661	959	6,902	809	789	10,820	373	11,544	
	合格率	32.1	78.1	79.2	75.8	51.7	79.5	83.2	59.1	89.7	58.2	
その他	申請者	5,461	2,698	2,578	3,670	62,870	3,332	3,105	78,253	3,320	87,034	19.7
	受験者	4,384	2,495	2,433	3,448	52,530	3,137	2,936	66,979	2,926	74,289	
	合格者	1,260	1,898	1,773	2,526	21,176	2,371	2,320	32,064	2,089	35,413	
	合格率	28.7	76.1	72.9	73.3	40.3	75.6	79.0	47.9	71.4	47.7	
未入力	申請者	542	191	198	214	6,596	259	301	7,759	687	8,988	2.0
	受験者	455	181	183	202	5,799	250	289	6,904	633	7,992	
	合格者	148	100	103	131	1,255	167	184	1,940	267	2,355	
	合格率	32.5	55.2	56.3	64.9	21.6	66.8	63.7	28.1	42.2	29.5	
合計	申請者	26,658	13,951	13,581	15,008	303,615	14,660	16,591	377,406	37,842	441,906	100
	受験者	22,905	13,456	13,105	14,397	271,234	14,122	16,085	342,399	35,792	401,096	
	合格者	7,381	8,962	8,592	9,728	79,718	9,593	10,521	127,114	17,616	152,111	
	合格率	32.2	66.6	65.6	67.6	29.4	67.9	65.4	37.1	49.2	37.9	

■ 表 5-2 危険物取扱者試験の職業別受験申請者数の推移

(単位：人，%)

年度	区分	高校生	高校生以外 の学生等	ガソリン スタンド	化学工業	危険物卸 小売業	危険物の 運送業	危険物を扱う その他の事業	公務員	その他	未入力	合計
平成17年度	申請者数	238,990	43,768	39,691	20,867	8,712	6,294	67,014	14,837	74,926	7,487	522,586
	構成割合	45.7	8.4	7.6	4.0	1.7	1.2	12.8	2.8	14.3	1.4	100
平成22年度	申請者数	200,903	36,361	30,715	27,224	8,945	6,262	80,349	19,509	93,206	7,410	510,884
	構成割合	39.3	7.1	6.0	5.3	1.8	1.2	15.7	3.8	18.2	1.5	100
平成27年度	申請者数	151,700	28,996	26,946	24,914	9,933	6,338	75,248	21,809	87,034	8,988	441,906
	構成割合	34.3	6.6	6.1	5.6	2.2	1.4	17.0	4.9	19.7	2.0	100

## (5) 年代別受験状況 (表6)

高校生の受験申請者が多数を占めることから、20歳代未満の受験申請者が40.4%と高い値となっています。年齢別構成割合は、20歳代未満の受験申請者割合が、1.8ポイント減少した他は、前年度とほぼ同様の傾向を示しています。今後、少子高齢化の影響により、その割合が変化していくことが予想されます。

合格率を年代別に見ると、全体的には60歳代までは年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。

■ 表6 危険物取扱者試験の年代別受験状況

(単位：人，%)

年代	区分	甲種	乙種							丙種	合計	申請者の構成割合
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計			
20代未満	申請者	1,427	7,271	6,219	6,117	112,046	6,109	8,836	146,598	30,288	178,313	40.4
	受験者	1,378	7,176	6,126	6,023	106,514	6,019	8,715	140,573	29,120	171,071	
	合格者	249	4,353	3,696	3,692	20,867	3,645	4,949	41,202	13,044	54,495	
	合格率	18.1	60.7	60.3	61.3	19.6	60.6	56.8	29.3	44.8	31.9	
20代	申請者	12,481	1,791	1,970	2,465	76,850	2,311	2,094	87,481	2,115	102,077	23.1
	受験者	11,051	1,688	1,858	2,329	66,707	2,197	1,976	76,755	1,901	89,707	
	合格者	4,356	1,223	1,270	1,625	23,143	1,534	1,453	30,248	1,188	35,792	
	合格率	39.4	72.5	68.4	69.8	34.7	69.8	73.5	39.4	62.5	39.9	
30代	申請者	6,087	1,905	2,116	2,555	50,552	2,492	2,268	61,888	1,966	69,941	15.8
	受験者	5,025	1,787	2,000	2,392	43,373	2,332	2,152	54,036	1,765	60,826	
	合格者	1,455	1,312	1,409	1,794	14,957	1,734	1,646	22,852	1,175	25,482	
	合格率	29.0	73.4	70.5	75.0	34.5	74.4	76.5	42.3	66.6	41.9	
40代	申請者	4,335	1,856	2,043	2,404	40,933	2,369	2,163	51,768	1,936	58,039	13.1
	受験者	3,538	1,739	1,927	2,261	34,822	2,246	2,065	45,060	1,665	50,263	
	合格者	841	1,277	1,376	1,624	12,304	1,682	1,583	19,846	1,216	21,903	
	合格率	23.8	73.4	71.4	71.8	35.3	74.9	76.7	44.0	73.0	43.6	
50代	申請者	1,918	927	1,051	1,190	18,557	1,128	1,012	23,865	1,116	26,899	6.1
	受験者	1,566	874	1,018	1,126	15,749	1,083	969	20,819	956	23,341	
	合格者	397	654	711	803	6,509	817	730	10,224	711	11,332	
	合格率	25.4	74.8	69.8	71.3	41.3	75.4	75.3	49.1	74.4	48.5	
60代	申請者	389	195	172	265	4,361	236	209	5,438	389	6,216	1.4
	受験者	326	186	167	254	3,810	232	201	4,850	355	5,531	
	合格者	78	139	125	180	1,853	173	154	2,624	262	2,964	
	合格率	23.9	74.7	74.9	70.9	48.6	74.6	76.6	54.1	73.8	53.6	
70代以上	申請者	21	6	10	12	316	15	9	368	32	421	0.1
	受験者	21	6	9	12	259	13	7	306	30	357	
	合格者	5	4	5	10	85	8	6	118	20	143	
	合格率	23.8	66.7	55.6	83.3	32.8	61.5	85.7	38.6	66.7	40.1	
合計	申請者	26,658	13,951	13,581	15,008	303,615	14,660	16,591	377,406	37,842	441,906	100
	受験者	22,905	13,456	13,105	14,397	271,234	14,122	16,085	342,399	35,792	401,096	
	合格者	7,381	8,962	8,592	9,728	79,718	9,593	10,521	127,114	17,616	152,111	
	合格率	32.2	66.6	65.6	67.6	29.4	67.9	65.4	37.1	49.2	37.9	

## 3 消防設備士試験の実施状況

### (1) 試験実施回数の状況 (表7)

試験実施回数は、1,460回で前年度に比べ51回の増加となりました。平成26年度の実績と比較すると、甲種は26回、乙種は25回それぞれ試験回数が増加しています。

■ 表7 消防設備士試験の種類別試験実施回数

(単位：回)

年度	甲種							乙種							合計	
	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小計
平成25年度	92	111	103	105	122	103	636	104	97	97	116	100	126	111	751	1,387
平成26年度	94	114	105	107	121	105	646	104	94	98	123	100	129	115	763	1,409
平成27年度	98	120	108	110	128	108	672	109	100	100	126	103	134	116	788	1,460
対前年度	+4	+6	+3	+3	+7	+3	+26	+5	+6	+2	+3	+3	+5	+1	+25	+51

(2) 種別別受験申請者数の状況 (表8)

全受験申請者は107,804人であり、前年度の104,224人に比べ3,580人の増加となりました。

■ 表8 消防設備士試験の種別別受験申請者の状況 (単位：人，%)

年度	区分	甲 種							乙 種							合計	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小 計
平成25年度	申請者	1,441	13,964	3,158	3,815	22,757	3,848	48,983	3,240	931	902	12,123	1,328	26,967	6,931	52,422	101,405
	構成割合	1.4	13.8	3.1	3.8	22.4	3.8	48.3	3.2	0.9	0.9	12.0	1.3	26.6	6.8	51.7	100
平成26年度	申請者	1,337	14,568	3,399	4,084	23,377	3,927	50,692	3,141	869	941	13,881	1,188	26,740	6,772	53,532	104,224
	構成割合	1.3	14.0	3.3	3.9	22.4	3.8	48.6	3.0	0.8	0.9	13.3	1.1	25.7	6.5	51.4	100
平成27年度	申請者	1,396	16,029	3,790	4,174	25,011	4,002	54,402	3,236	898	962	15,181	1,167	25,119	6,839	53,402	107,804
	構成割合	1.3	14.9	3.5	3.9	23.2	3.7	50.5	3.0	0.8	0.9	14.1	1.1	23.3	6.3	49.5	100
対前年度		+59	+1,461	+391	+90	+1,634	+75	+3,710	+95	+29	+21	+1,300	-21	-1,621	+67	-130	+3,580

(3) 種別別合格率の状況 (表9)

全体の合格率は32.4%であり、前年度と比較すると、4.7ポイントの減少でした。

■ 表9 消防設備士試験の種別別合格率 (単位：人，%)

年度	区分	甲 種							乙 種							合計	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小 計
平成25年度	受験者	1,211	10,479	2,540	3,081	17,491	3,107	37,909	2,630	805	747	9,682	1,095	22,086	5,937	42,982	80,891
	合格者	382	2,552	952	917	5,859	1,036	11,698	740	243	237	3,693	448	7,821	3,641	16,823	28,521
	合格率	31.5	24.4	37.5	29.8	33.5	33.3	30.9	28.1	30.2	31.7	38.1	40.9	35.4	61.3	39.1	35.3
平成26年度	受験者	1,125	10,948	2,783	3,279	17,936	3,166	39,237	2,568	754	781	11,156	986	21,784	5,844	43,873	83,110
	合格者	306	2,977	1,028	979	6,269	1,037	12,596	854	264	208	3,789	425	9,200	3,489	18,229	30,825
	合格率	27.2	27.2	36.9	29.9	35.0	32.8	32.1	33.3	35.0	26.6	34.0	43.1	42.2	59.7	41.5	37.1
平成27年度	受験者	1,168	11,927	3,025	3,326	18,958	3,265	41,669	2,622	752	802	12,068	958	20,099	5,878	43,179	84,848
	合格者	190	2,712	892	877	5,494	1,048	11,213	754	228	262	3,418	376	7,888	3,377	16,303	27,516
	合格率	16.3	22.7	29.5	26.4	29.0	32.1	26.9	28.8	30.3	32.7	28.3	39.2	39.2	57.5	37.8	32.4

(4) 筆記試験、実技試験の合格者の状況 (表10)

消防設備士試験には、筆記試験と実技試験の2つの試験がありますが、筆記試験の合格率は56.3%でした。筆記試験合格者のうち実技試験にも合格した者の全受験者に対する割合(最終合格率)は32.4%でした。

■ 表10 消防設備士試験の筆記試験、実技試験の合格状況 (単位：人，%)

試験種類	区分	甲 種							乙 種							合計
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		
	申請者数	1,396	16,029	3,790	4,174	25,011	4,002	54,402	3,236	898	962	15,181	1,167	25,119	6,839	107,804
	受験者数	1,168	11,927	3,025	3,326	18,958	3,265	41,669	2,622	752	802	12,068	958	20,099	5,878	84,848
筆 記	合格者数	190	5,374	1,991	2,015	10,833	1,952	23,265	1,533	464	551	6,786	595	11,805	3,655	47,744
	合格率	16.3	45.1	65.8	60.6	57.1	59.8	58.5	61.7	68.7	56.2	62.1	58.7	62.2	62.2	56.3
実 技	合格者数	—	2,712	892	877	5,494	1,048	11,213	754	228	262	3,418	376	7,888	1,054	24,991
	合格率	—	50.5	44.8	43.5	50.7	53.7	49.2	49.1	47.5	50.4	63.1	66.8	79.1	55.3	
最 終	合格者数	190	2,712	892	877	5,494	1,048	11,213	754	228	262	3,418	376	7,888	3,377	27,516
	合格率	16.3	22.7	29.5	26.4	29.0	32.1	28.8	30.3	32.7	28.3	39.2	39.2	57.5	37.8	32.4

(5) 職業別受験状況 (表11-1、表11-2)

受験申請者の職業のうち、最も多い職業は消防設備業であり、電気工事業、ビル管理業、管工事業がこれに次いで多くの割合を占めています。この傾向はほぼ例年どおりであり、これらの職業の従事者で全体の過半数を占めています。

職業別受験申請者数の推移 (表11-2) については、ここ数年その構成割合に大きな変化は認められません。

■ 表 11-1 消防設備士試験の職業別受験状況 (単位：人，%)

職業	区分	甲 種							乙 種							合計	申請者の構成割合	
		特 類	第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	小 計	第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類	第 7 類			小 計
学生	申請者	0	127	1	7	1,063	18	1,216	134	3	3	1,009	13	718	3,055	3,357	4,271	4.0
	受験者	0	99	1	5	929	14	1,048	121	2	3	858	10	601	2,701	2,988	3,749	
	合格者	0	16	0	2	288	7	313	30	1	1	237	2	246	1,043	1,267	1,356	
	合格率	0.0	16.2	0.0	40.0	31.0	50.0	29.9	24.8	50.0	33.3	27.6	20.0	40.9	38.6	42.4	36.2	
消防設備業	申請者	598	3,356	1,577	1,936	3,909	1,974	13,350	301	95	160	643	183	5,130	7,224	7,277	20,574	19.1
	受験者	497	2,601	1,254	1,544	3,172	1,601	10,669	255	79	132	522	148	4,171	5,892	5,931	16,561	
	合格者	66	491	326	331	792	357	2,363	56	24	37	140	41	1,296	1,900	2,019	4,263	
	合格率	13.3	18.9	26.0	21.4	25.0	22.3	22.1	22.0	30.4	28.0	26.8	27.7	31.1	32.2	34.0	25.7	
電気工事業	申請者	80	713	139	316	9,366	269	10,883	100	8	53	922	36	1,572	4,191	4,131	15,074	14.0
	受験者	69	549	115	248	6,954	216	8,151	79	6	44	687	30	1,201	3,297	3,272	11,448	
	合格者	5	132	35	52	1,483	66	1,773	13	4	11	156	13	435	1,236	1,396	3,009	
	合格率	7.2	24.0	30.4	21.0	21.3	30.6	21.8	16.5	66.7	25.0	22.7	43.3	36.2	37.5	42.7	26.3	
管工事業	申請者	68	6,328	684	342	576	150	8,148	198	17	11	120	12	830	1,277	1,097	9,425	8.7
	受験者	52	4,589	514	255	404	111	5,925	143	14	7	78	9	651	973	838	6,898	
	合格者	11	719	116	59	116	39	1,060	23	3	3	14	5	229	321	320	1,381	
	合格率	21.2	15.7	22.6	23.1	28.7	35.1	17.9	16.1	21.4	42.9	17.9	55.6	35.2	33.0	38.2	20.0	
建築業	申請者	48	1,569	175	123	1,537	161	3,613	102	14	18	2509	30	766	3,608	2,331	7,221	6.7
	受験者	34	1,093	128	101	1,071	128	2,555	77	10	16	1996	23	542	2,797	1,875	5,352	
	合格者	2	279	35	21	324	50	711	13	2	5	273	7	228	595	513	1,306	
	合格率	5.9	25.5	27.3	20.8	30.3	39.1	27.8	16.9	20.0	31.3	13.7	30.4	42.1	21.3	27.4	24.4	
ビル管理業	申請者	197	1,195	387	452	2,806	482	5,519	471	141	178	1,684	228	3,127	6,792	6,793	12,311	11.4
	受験者	166	874	320	367	2,009	396	4,132	355	118	151	1,290	188	2,301	5,230	5,360	9,362	
	合格者	29	324	121	117	765	152	1,508	131	37	64	449	75	987	2,343	2,582	3,851	
	合格率	17.5	37.1	37.8	31.9	38.1	38.4	36.5	36.9	31.4	42.4	34.8	39.9	42.9	44.8	48.2	41.1	
ビル整備業	申請者	13	37	4	14	87	14	169	22	5	7	70	9	122	260	297	429	0.4
	受験者	10	30	4	9	70	9	132	17	5	7	54	7	80	190	219	322	
	合格者	0	8	0	1	16	4	29	3	2	3	19	3	25	68	89	97	
	合格率	0.0	26.7	0.0	11.1	22.9	44.4	22.0	17.6	40.0	42.9	35.2	42.9	31.3	35.8	40.6	30.1	
公務員	申請者	124	464	171	165	878	305	2,107	228	62	66	830	173	2,330	4,013	4,411	6,120	5.7
	受験者	119	377	149	140	703	261	1,749	188	50	54	676	144	1,992	3,385	3,810	5,134	
	合格者	46	200	72	71	388	136	913	86	19	28	260	71	912	1,574	1,597	2,487	
	合格率	38.7	53.1	48.3	50.7	55.2	52.1	52.2	45.7	38.0	51.9	38.5	49.3	45.8	46.5	41.9	48.4	
その他	申請者	259	2,056	621	788	4,476	603	8,803	1,625	545	453	7,113	474	10,174	22,171	22,837	30,974	28.7
	受験者	213	1,581	514	632	3,409	508	6,857	1,342	461	375	5,669	390	8,259	18,025	18,739	24,882	
	合格者	31	527	183	218	1,284	235	2,478	392	134	107	1,828	156	3,446	7,046	8,207	9,524	
	合格率	14.6	33.3	35.6	34.5	37.7	46.3	36.1	29.2	29.1	28.5	32.2	40.0	41.7	39.1	43.8	38.3	
未入力	申請者	9	184	31	31	313	26	594	55	8	13	281	9	350	811	1,001	1,405	1.3
	受験者	8	134	26	25	237	21	451	45	7	13	238	9	301	689	841	1,140	
	合格者	0	16	4	5	38	2	65	7	2	3	42	3	84	177	239	242	
	合格率	0.0	11.9	15.4	20.0	16.0	9.5	14.4	15.6	28.6	23.1	17.6	33.3	27.9	25.7	28.4	21.2	
合 計	申請者	1,396	16,029	3,790	4,174	25,011	4,002	54,402	3,236	898	962	15,181	1,167	25,119	53,402	53,532	107,804	100
	受験者	1,168	11,927	3,025	3,326	18,958	3,265	41,669	2,622	752	802	12,068	958	20,099	43,179	43,873	84,848	
	合格者	190	2,712	892	877	5,494	1,048	11,213	754	228	262	3,418	376	7,888	16,303	18,229	27,516	
	合格率	16.3	22.7	29.5	26.4	29.0	32.1	26.9	28.8	30.3	32.7	28.3	39.2	39.2	37.8	41.5	32.4	

■ 表 11-2 消防設備士試験の職業別受験申請者数の推移 (単位：人，%)

年度	区分	学 生	消防設備業	電気工事業	管工事業	建築業	ビル管理業	ビル整備業	公務員	その他	未入力	合計
平成 17 年度	申請者数	4,716	15,111	10,102	6,085	1,960	8,793	561	3,766	20,221	535	71,850
	構成割合	6.6	21.0	14.1	8.5	2.7	12.2	0.8	5.2	28.1	0.7	100
平成 22 年度	申請者数	4,522	19,851	13,442	8,500	3,934	11,376	408	5,316	29,065	940	97,354
	構成割合	4.6	20.4	13.8	8.7	4.0	11.7	0.4	5.5	29.9	1.0	100
平成 27 年度	申請者数	4,271	20,574	15,074	9,425	7,221	12,311	429	6,120	30,974	1,405	107,804
	構成割合	4.0	19.1	14.0	8.7	6.7	11.4	0.4	5.7	28.7	1.3	100

(6) 年代別受験状況 (表12)

年代別に見た場合、20歳代未満の受験申請者割合は3.5%であり、危険物取扱者試験のように、20歳代未満の受験申請者が際立って多いことはありません。30歳代の割合が最も多く28.8%を占め、20歳代、40歳代の割合がこれに続きます。

年代別合格率は、危険物取扱者試験と同じく、全体的には60歳代までは概ね年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。

■ 表12 消防設備士試験の年代別受験状況 (単位：人，%)

年代	区分	甲 種							乙 種							合計	申請者の 構成割合	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類			小 計
20代 未満	申請者	0	167	9	13	904	7	1100	80	4	4	536	8	882	1,130	2,644	3,744	3.5
	受験者	0	148	9	13	811	6	987	68	4	3	472	7	802	1,080	2,436	3,423	
	合格者	0	13	0	2	184	3	202	10	0	0	65	0	227	504	806	1,008	
	合格率	0.0	8.8	0.0	15.4	22.7	50.0	20.5	14.7	0	0.0	13.8	0.0	28.3	46.7	33.1	29.4	
20代	申請者	90	5,110	716	577	7,892	653	15038	707	133	134	3,168	158	7,842	1,465	13,607	28,645	26.6
	受験者	77	3,762	529	466	5,946	526	11306	571	107	108	2,479	122	6,327	1,153	10,867	22,173	
	合格者	21	763	161	121	1,553	153	2772	136	23	25	655	38	2,218	547	3,642	6,414	
	合格率	27.3	20.3	30.4	26.0	26.1	29.1	24.5	23.8	21.5	23.1	26.4	31.1	35.1	47.4	33.5	28.9	
30代	申請者	350	4,973	1,321	1,379	7,446	1,392	16861	856	255	288	3,820	319	6,971	1,689	14,198	31,059	28.8
	受験者	275	3,668	1,038	1,100	5,525	1,113	12719	675	213	233	2,987	268	5,507	1,426	11,309	24,028	
	合格者	50	838	309	297	1,618	351	3463	177	76	75	884	99	2,199	919	4,429	7,892	
	合格率	18.2	22.8	29.8	27.0	29.3	31.5	27.2	26.2	35.7	32.2	29.6	36.9	39.9	64.4	39.2	32.8	
40代	申請者	459	3,982	1,121	1,457	5,887	1,276	14182	834	279	274	3,990	377	5,754	1,526	13,034	27,216	25.2
	受験者	390	2,938	906	1,135	4,404	1,040	10813	658	235	223	3,147	307	4,473	1,307	10,350	21,163	
	合格者	59	712	275	275	1,354	325	3000	204	68	88	874	124	1,860	819	4,037	7,037	
	合格率	15.1	24.2	30.4	24.2	30.7	31.3	27.7	31.0	28.9	39.5	27.8	40.4	41.6	62.7	39.0	33.3	
50代	申請者	367	1,425	502	558	2,279	518	5649	551	180	200	2,750	234	2,919	791	7,625	13,274	12.3
	受験者	313	1,107	432	456	1,781	441	4530	459	152	181	2,248	192	2,369	697	6,298	10,828	
	合格者	40	295	118	129	607	161	1350	162	51	55	694	90	1,081	446	2,579	3,929	
	合格率	12.8	26.6	27.3	28.3	34.1	36.5	29.8	35.3	33.6	30.4	30.9	46.9	45.6	64.0	40.9	36.3	
60代	申請者	116	351	112	184	567	144	1474	200	44	56	871	69	695	222	2,157	3,631	3.4
	受験者	102	285	104	151	464	130	1236	184	39	49	699	60	576	205	1,812	3,048	
	合格者	18	85	29	52	168	53	405	64	9	19	240	25	290	136	783	1,188	
	合格率	17.6	29.8	27.9	34.4	36.2	40.8	32.8	34.8	23.1	38.8	34.3	41.7	50.3	66.3	43.2	39.0	
70代 以上	申請者	14	21	9	6	36	12	98	8	3	6	46	2	56	16	137	235	0.2
	受験者	11	19	7	5	27	9	78	7	2	5	36	2	45	10	107	185	
	合格者	2	6	0	1	10	2	21	1	1	0	6	0	13	6	27	48	
	合格率	18.2	31.6	0.0	20	37.0	22.2	26.9	14.3	50.0	0	16.7	0.0	28.9	60.0	25.2	25.9	
合 計	申請者	1,396	16,029	3,790	4,174	25,011	4,002	54,402	3,236	898	962	15,181	1,167	25,119	6,839	53,402	107,804	100
	受験者	1,168	11,927	3,025	3,326	18,958	3,265	41,669	2,622	752	802	12,068	958	20,099	5,878	43,179	84,848	
	合格者	190	2,712	892	877	5,494	1,048	11,213	754	228	262	3,418	376	7,888	3,377	16,303	27,516	
	合格率	16.3	22.7	29.5	26.4	29.0	32.1	26.9	28.8	30.3	32.7	28.3	39.2	39.2	57.5	37.8	32.4	

4 予防技術検定の実施状況

予防技術検定は、予防技術資格者制度の発足に伴い、平成17年度から各年度1回ずつ全国一斉に実施しています。受験申請者数は順調に増加し、平成28年3月20日に実施した第11回検定では、受験申請者が7,858人と、昨年と比べ707人増加しました。

■ 表13 予防技術検定の実施状況 (単位：人，%)

実施回	年 度	申請者数	受験者数	合格者数	合格率
第8回	平成24年度	6,325	5,922	2,669	45.1
第9回	平成25年度	6,641	6,219	3,232	52.0
第10回	平成26年度	7,151	6,771	3,270	48.3
第11回	平成27年度	7,858	7,328	2,826	38.6

# 平成27年度の免状作成等の状況について —免状部—

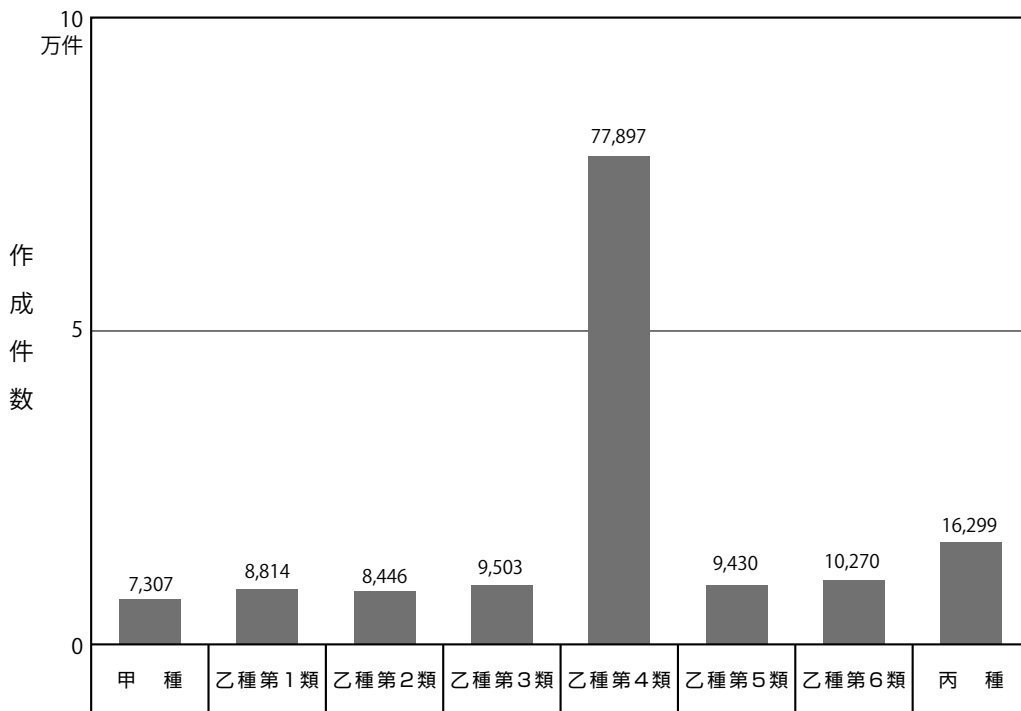
当センターが、平成27年度に都道府県から受託して作成した免状等の状況は、次のとおりです。

## 1 新規免状作成状況

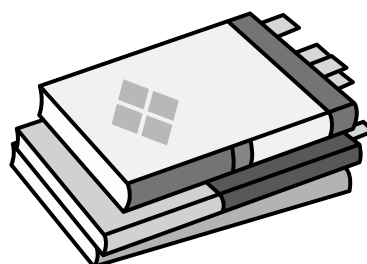
### (1) 危険物取扱者

危険物取扱者の新規免状作成件数は、図1のとおり、平成26年度と比べて5.4%減の14万7千966件となっています。

■図1 平成27年度 危険物取扱者新規免状作成件数



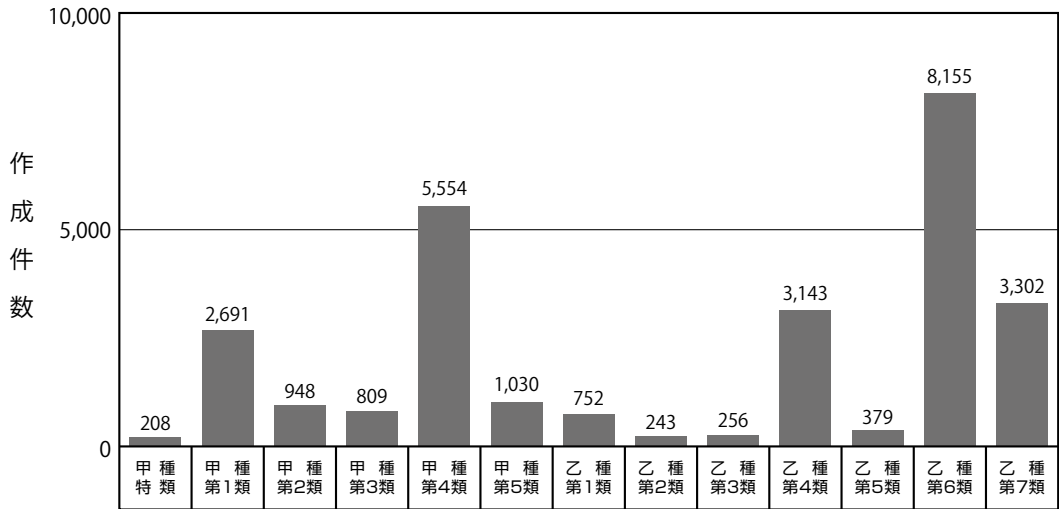
年度	甲種	乙種						丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類		
平成26年度	7,777	9,825	9,494	10,548	79,191	10,896	11,533	17,202	156,466
平成27年度	7,307	8,814	8,446	9,503	77,897	9,430	10,270	16,299	147,966
増減率	-6.0%	-10.3%	-11.0%	-9.9%	-1.6%	-13.5%	-11.0%	-5.2%	-5.4%



(2) 消防設備士

消防設備士の新規免状作成件数は、図2のとおり、平成26年度と比べて5.7%減の2万7千470件となっています。

■図2 平成27年度 消防設備士新規免状作成件数



年度	甲種						乙種							合計
	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	
平成26年度	262	2,684	932	914	6,045	976	787	254	204	3,563	431	8,682	3,411	29,145
平成27年度	208	2,691	948	809	5,554	1,030	752	243	256	3,143	379	8,155	3,302	27,470
増減率	-20.6%	0.3%	1.7%	-11.5%	-8.1%	5.5%	-4.4%	-4.3%	25.5%	-11.8%	-12.1%	-6.1%	-3.2%	-5.7%

2 免状処理状況の推移

昭和63年度から平成27年度までの免状処理状況の推移は、図3、図4、表1及び表2のとおりです。なお、過去10年間の推移をみると次のとおりです。

(1) 新規

ア 危険物取扱者は、平成19年度の20万7千件をピークに20万件から15万件で推移していますが、平成27年度は、前年度に比べ5.4%減の14万7千966件となっています。

イ 消防設備士は、これまで平成26年度の2万9千件がピークでしたが、平成27年度は、前年度に比べ5.7%減の2万7千470件となっています。

(2) 写真書換え

ア 危険物取扱者は、平成17年度から平成20年度には8万件で推移していましたが、はがきによるお知らせ事業の開始（平成19年度末）後、平成21年度から平成23年度までの間は10万件から13万件台となっています。平成27年度は、前年度に比べ3.9%減の10万4千558件となっています。

イ 消防設備士は、1万件台で推移していましたが、危険物取扱者同様にお知らせ事業開始後、平成23年度、平成24年度と1万3千件台となっています。平成27年度は、前年度に比べ2.5%増の1万2千317件となっています。



### (3) 本籍書換え

ア 危険物取扱者は、平成25年度から、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を表示しています。平成27年度は、前年度と比較して2.4%減の1千726件となっています。

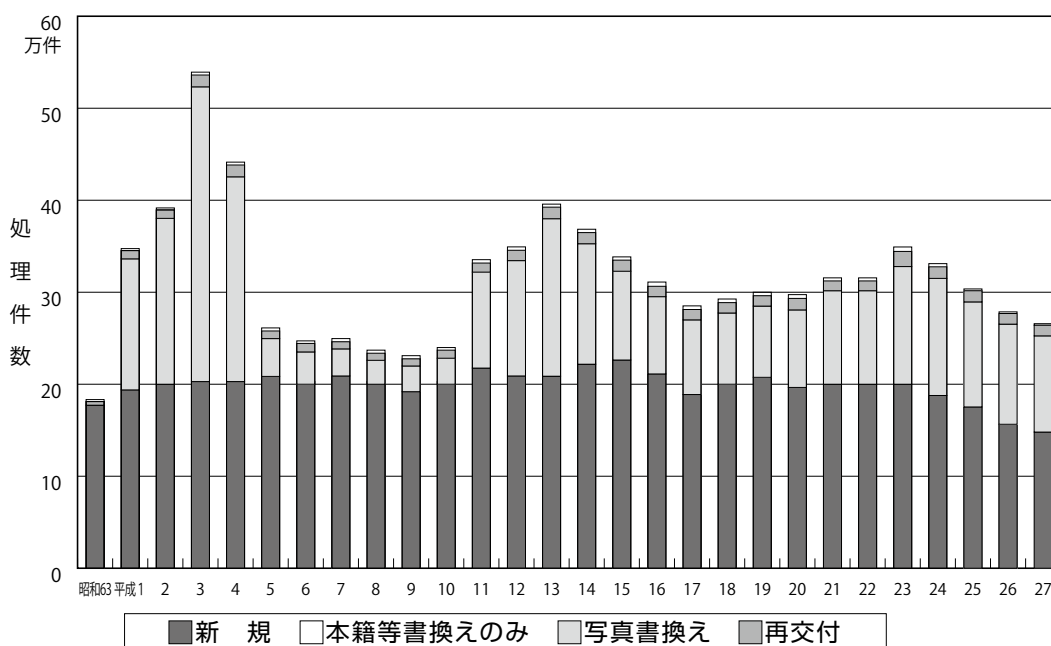
イ 消防設備士は、危険物取扱者と同様の理由により前年度と比較して1.0%増の209件となっています。

### (4) 再交付

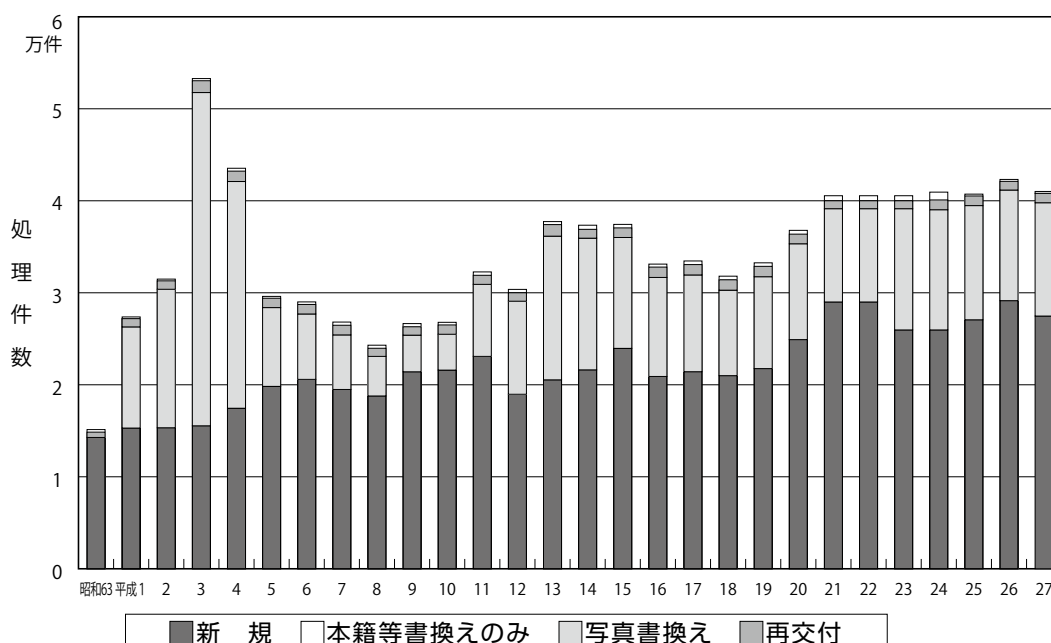
ア 危険物取扱者は、1万1千件前後で推移しています。平成27年度は前年度に比べて0.6%減の1万1千507件となっています。

イ 消防設備士は、1千件前後で推移しています。平成27年度は前年度に比べて7.3%増の1,015件となっています。

■図3 危険物取扱者の免状処理状況の推移



■図4 消防設備士の免状処理状況の推移



■ 表1 危険物取扱者免状処理状況の推移

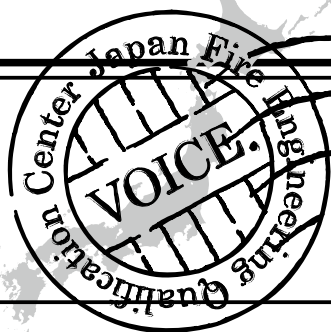
年度	合計		免状作成件数						本籍等書換えのみ			
	対前年増減率	新規	対前年増減率	新規	対前年増減率	写真書換え	対前年増減率	再交付	対前年増減率	対前年増減率		
昭和63年度	182,519	—	180,838	—	177,566	—	—	3,272	—	1,681	—	
平成1年度	346,876	90.0%	345,648	91.1%	194,564	9.6%	143,422	—	7,662	134.2%	1,228	-26.9%
平成2年度	391,648	12.9%	390,165	12.9%	199,375	2.5%	181,642	26.6%	9,148	19.4%	1,483	20.8%
平成3年度	539,433	37.7%	537,231	37.7%	202,844	1.7%	321,056	76.8%	13,331	45.7%	2,202	48.5%
平成4年度	440,831	-18.3%	438,636	-18.4%	202,975	0.1%	223,087	-30.5%	12,574	-5.7%	2,195	-0.3%
平成5年度	262,788	-40.4%	260,787	-40.5%	208,727	2.8%	44,325	-80.1%	7,735	-38.5%	2,001	-8.8%
平成6年度	248,916	-5.3%	246,614	-5.4%	201,848	-3.3%	36,504	-17.6%	8,262	6.8%	2,302	15.0%
平成7年度	251,749	1.1%	249,179	1.0%	211,299	4.7%	29,927	-18.0%	7,953	-3.7%	2,570	11.6%
平成8年度	239,407	-4.9%	236,524	-5.1%	202,421	-4.2%	26,280	-12.2%	7,823	-1.6%	2,883	12.2%
平成9年度	232,704	-2.8%	229,664	-2.9%	194,220	-4.1%	27,355	4.1%	8,089	3.4%	3,040	5.4%
平成10年度	241,814	3.9%	238,753	4.0%	203,114	4.6%	27,086	-1.0%	8,553	5.7%	3,061	0.7%
平成11年度	336,025	39.0%	332,893	39.4%	220,497	8.6%	102,647	279.0%	9,749	14.0%	3,132	2.3%
平成12年度	350,831	4.4%	347,739	4.5%	211,281	-4.2%	125,622	22.4%	10,836	11.1%	3,092	-1.3%
平成13年度	394,582	12.5%	391,442	12.6%	209,542	-0.8%	169,911	35.3%	11,989	10.6%	3,140	1.6%
平成14年度	370,008	-6.2%	366,897	-6.3%	222,496	6.2%	132,005	-22.3%	12,396	3.4%	3,111	-0.9%
平成15年度	339,491	-8.2%	336,370	-8.3%	227,288	2.2%	96,983	-26.5%	12,099	-2.4%	3,121	0.3%
平成16年度	331,034	-8.4%	308,000	-8.4%	212,220	-6.6%	84,159	-13.2%	11,621	-4.0%	3,034	-2.8%
平成17年度	284,975	-8.4%	281,941	-8.5%	189,455	-10.7%	80,987	-3.8%	11,499	-1.0%	3,034	0.0%
平成18年度	292,603	2.7%	289,406	2.6%	200,093	5.6%	77,283	-4.6%	12,030	4.6%	3,197	5.4%
平成19年度	300,211	2.6%	296,952	2.6%	207,754	3.8%	77,283	0.0%	11,915	-1.0%	3,259	1.9%
平成20年度	297,098	-1.0%	293,815	-1.1%	196,075	-5.6%	84,923	9.9%	12,817	7.6%	3,283	0.7%
平成21年度	321,663	8.3%	318,486	8.4%	199,816	1.9%	106,110	24.9%	12,560	-2.0%	3,177	-3.2%
平成22年度	322,723	0.3%	319,375	0.3%	192,459	-3.7%	114,549	8.0%	12,367	-1.5%	3,348	5.4%
平成23年度	353,617	9.6%	350,030	9.6%	197,942	2.8%	137,460	20.0%	14,628	18.3%	3,587	7.1%
平成24年度	331,084	-6.4%	327,660	-6.4%	187,758	-5.1%	127,300	-7.4%	12,602	-13.9%	3,424	-4.5%
平成25年度	303,580	-8.3%	301,616	-7.9%	175,299	-6.6%	114,195	-10.3%	12,122	-3.8%	1,964	-42.6%
平成26年度	278,640	-8.2%	276,871	-8.2%	156,466	-10.7%	108,828	-4.7%	11,577	-4.5%	1,769	-9.9%
平成27年度	265,757	-4.6%	264,031	-4.6%	147,966	-5.4%	104,558	-3.9%	11,507	-0.6%	1,726	-2.4%

注) 平成25年度以降の本籍等書換えのみは、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数

■ 表2 消防設備士免状処理状況の推移

年度	合計		免状作成件数						本籍等書換えのみ			
	対前年増減率	新規	対前年増減率	新規	対前年増減率	写真書換え	対前年増減率	再交付	対前年増減率	対前年増減率		
昭和63年度	14,988	—	14,753	—	14,218	—	—	535	—	235	—	
平成1年度	27,231	81.7%	27,092	83.6%	15,232	7.1%	11,062	—	798	49.2%	139	-40.9%
平成2年度	31,299	14.9%	31,179	15.1%	15,246	0.1%	15,031	35.9%	902	13.0%	120	-13.7%
平成3年度	53,267	70.2%	53,088	70.3%	15,439	1.3%	36,435	142.4%	1,214	34.6%	179	49.2%
平成4年度	43,398	-18.5%	43,196	-18.6%	17,386	12.6%	24,585	-32.5%	1,225	0.9%	202	12.8%
平成5年度	29,578	-31.8%	29,403	-31.9%	19,734	13.5%	8,716	-64.5%	953	-22.2%	175	-13.4%
平成6年度	28,994	-2.0%	28,760	-2.2%	20,632	4.6%	7,054	-19.1%	1,074	12.7%	234	33.7%
平成7年度	26,691	-7.9%	26,464	-8.0%	19,479	-5.6%	5,910	-16.2%	1,075	0.1%	227	-3.0%
平成8年度	24,274	-9.1%	23,971	-9.4%	18,728	-3.9%	4,276	-27.6%	967	-10.0%	303	33.5%
平成9年度	26,576	9.5%	26,297	9.7%	21,295	13.7%	4,043	-5.4%	959	-0.8%	279	-7.9%
平成10年度	26,691	0.4%	26,394	0.4%	21,567	1.3%	3,877	-4.1%	950	-0.9%	297	6.5%
平成11年度	32,256	20.8%	31,920	20.9%	23,105	7.1%	7,819	101.7%	996	4.8%	336	13.1%
平成12年度	30,402	-5.7%	30,107	-5.7%	18,881	-18.3%	10,192	30.3%	1,034	3.8%	295	-12.2%
平成13年度	37,655	23.9%	37,359	24.1%	20,539	8.8%	15,610	53.2%	1,210	17.0%	296	0.3%
平成14年度	37,288	-1.0%	36,947	-1.1%	21,629	5.3%	14,224	-8.9%	1,094	-9.6%	341	15.2%
平成15年度	37,387	0.3%	37,053	0.3%	23,877	10.4%	12,038	-15.4%	1,138	4.0%	334	-2.1%
平成16年度	33,025	-11.7%	32,733	-11.7%	20,753	-13.1%	10,823	-10.1%	1,157	1.7%	292	-12.6%
平成17年度	33,345	1.0%	33,030	0.9%	21,297	2.6%	10,607	-2.0%	1,126	-2.7%	315	7.9%
平成18年度	31,656	-5.1%	31,325	-5.2%	20,905	-1.8%	9,314	-12.2%	1,106	-1.8%	331	5.1%
平成19年度	33,142	4.7%	32,854	4.9%	21,705	3.8%	10,029	7.7%	1,120	1.3%	288	-13.0%
平成20年度	36,659	10.6%	36,369	10.7%	24,790	14.2%	10,527	5.0%	1,052	-6.1%	290	0.7%
平成21年度	40,390	10.2%	40,064	10.2%	28,458	14.8%	10,548	0.2%	1,058	0.6%	326	12.4%
平成22年度	40,379	0.0%	40,079	0.0%	27,444	-3.6%	11,557	9.6%	1,078	1.9%	300	-8.0%
平成23年度	40,214	-0.4%	39,885	-0.5%	25,586	-6.8%	13,080	13.2%	1,219	13.1%	329	9.7%
平成24年度	40,941	1.8%	40,662	1.9%	26,531	3.7%	13,067	-0.1%	1,064	-12.7%	279	-15.2%
平成25年度	40,723	-0.5%	40,525	-0.3%	27,066	2.0%	12,412	-5.0%	1,047	-1.6%	198	-29.0%
平成26年度	42,319	3.9%	42,112	3.9%	29,145	7.7%	12,021	-3.2%	946	-9.6%	207	9.0%
平成27年度	41,011	-3.1%	40,802	-3.1%	27,470	-5.7%	12,317	2.5%	1,015	7.3%	209	1.0%

注) 平成25年度以降の本籍等書換えのみは、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数



# 支部の広場

## 島根県支部からお届け

### はじめに（県の概要）

島根県は日本で最も認知度の低い県のひとつと言われています。出雲大社（古くは杵築大社、古代出雲の象徴）、宍道湖（シジミの漁獲量日本一）、松江城（天守閣が国宝）、足立美術館（世界が認める日本庭園）、安来節（あら、エッサッサーで、おなじみのどじょう掬い）などは有名で、ご存じだと思います。若い人では、プロテニスの錦織圭選手、大相撲の隠岐の海関、横浜DeNAの梶谷隆幸選手、将棋の里見香奈女流四冠が島根県の出身です。

また、島根県には玉造温泉をはじめ良質の温泉も多く、女性の美肌は4年連続日本一（化粧品会社調査）に輝いています。吉田くん（鷹の爪団）の言葉を借りれば、島根県は「人は少ないが神様はたくさんいる、日本で47番目に有名な県」なのです。もちろん、「砂丘はありません」。

さて、島根県は東西に長く、離島（隠岐諸島）を抱えています。県東部の出雲地方は出雲風土記に記され、歴史も古く、神々のふるさととも言われ、大国主大神を祀る出雲大社を筆頭に多く神社があります。旧暦10月は全国の神々が出雲に集まるとされ、この地方では「神在月」と呼ばれています。

一方、県西部の石見地方や日本海にある隠岐諸島も万葉の昔から豊かな自然と文化を受け継いでいます。邑南町は“A級グルメのまち”として注目されていますし、大田市は民間情報誌による“住みたい田舎ランキング”（2015年版）で日本一となりました。また、隠岐諸島（島前・島後）は世界ジオパークに加盟認定されました。

しかし、県内の多くの自治体は中山間地にあり、過疎化、少子高齢化が深刻で、かつて90万人を数えた県人口も今や70万人を切るに至っています。

### 県支部の現況

島根県支部は県東部松江市（県庁所在地）にあります。本年4月、母衣町の島根県林業会館2Fに移転しました。新事務所は松江城の東にあり、島根県庁からおおよそ500

m、周囲には日本銀行松江支店、松江商工会議所や小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）が日本で最初に書いた怪談『小豆とぎ橋』に登場する天台宗普門院（茶室「観月庵」も有名）があります。現在、支部では職員3名（支部長、調査役、主任）が業務にあたっています。

### 試験業務の概要

県の東西を結ぶ高速道路網は現在整備中で、しかも山間僻地、離島では交通の便に恵まれない地域も残っています。こうした地理的条件から県支部では受験者の利便性を考慮し、特に高校生受験者の多い危険物取扱者試験は6地区（松江・出雲・大田・浜田・益田・隠岐）で実施しています。試験会場は島根大学、県立大学や公的施設を使用し、平成18年度からはすべての試験会場で複数の監督員を配置し（但し松江会場以外は主任監督員が会場責任者を兼ねる）、監督業務に当たっています。試験監督員には県職員OB、消防職員OBを中心に41名があたっています。

#### ①危険物取扱者試験

■表1 危険物取扱者試験受験申請者数の推移（過去5年間）  
（単位：人）

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
甲種	72	94	74	88	88
乙種	3,254	3,122	2,953	2,558	2,534
丙種	220	170	184	162	167
計	3,546	3,386	3,211	2,808	2,789
うち高校生数と割合(%)	1,841 51.9	1,566 46.2	1,522 47.4	1,214 43.2	1,097 39.3

表1に見られるよう、近年では平成23年をピークに毎年受験者が減少しており、平成27年度の受験者総数は対23年度比で78.7%、高校生受験者に至っては59.6%と減少の一途です。県人口の減少、少子高齢化の影響がそのまま数値に表れています。しかも、身近に危険物取扱者資格を必要とする化学系の工場や事業所が少なくなり、高校生の関心も薄く、資格試験離れにもつながっています。直近の28年6月の試験でも高校生受験者は前年同期の91.5%と引き続き減少しています。加えて、最近は合格率の低下も見られ、再受験への意欲も高くないようです。



県支部では、資格試験への関心を高めてもらおうと島根県の各種広報を活用し、試験案内の情報提供を行っています。また、独自に地元紙へ年2回、試験広告を掲載しています。一方、実業系の高校を訪問し、担当教員に直接面会し、危険物取扱者試験案内(1200部)、リーフレット(1400部)を配布し、試験への取り組みをお願いしています。

危険物取扱者試験は6月、11月、2月の年3回行い、その内、11月と2月の試験は試験日と会場を2週に分散し、受験機会の便宜を図り、受験者数の増加の対策に充てています。また、11月の試験にあわせて、松江刑務所での特定試験も実施しています。

### ②消防設備士試験

■表2 消防設備士受験申請者数の推移(過去5年間) (単位:人)

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
甲種	489	413	382	378	436
乙種	606	447	485	415	493
計	1,095	860	867	793	929

年2回、8月(松江・浜田の2地区)と12月(松江地区のみ)で実施しています。表2のように、平成23年度には1000名を超える受験者がありましたが、近年は800名前後で推移しています。幸い、昨年度は929人と増加を見ました。

消防設備士の資格は、県内の建築設計現場や建物管理現場での需要が見込まれ、建築・設備会社、警備会社等からの受験者が増えています。会社、社員のスキルアップのために資格試験を活用しているところもあります。

12月には松江刑務所での特定試験も実施しています。

### ○ 免状業務の概要

免状交付業務は各試験の合格率が反映します。受験者総数の減少、合格率の低下は、新規交付件数の減少となって表れています。とりわけ危険物取扱者免状で顕著にみられます。

写真書換えについては、啓発ポスターを県内の行政機関、消防署、事業所などに300枚を配布し、啓発を図るとともに、毎年7月に更新通知はがきの発送を行っています。これにより、危険物取扱者免状においては期間中(7月~9月)に2割、消防設備士免状では3割の更新が行われています。

■表3 免状交付数の推移(過去5年間)

(単位:件)

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
危険物取扱者	新規	1,395	1,270	1,308	972	895
	写真	1,106	1,067	1,001	841	804
	本籍等	18	37	9	9	19
	再交付	99	110	108	101	93
	計	2618	2,484	2,426	1923	1811
消防設備士	新規	135	282	215	207	222
	写真	113	130	108	121	100
	本籍等	1	2	3	0	3
	再交付	12	5	6	6	7
	計	261	419	332	334	332

■表3-1 乙4類における高校生受験者の合格率

(単位:%)

危険物取扱者試験	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
高校生受験者	13.9	15.9	18.5	14.7	15.4
県全体の受験者	27.1	27.2	30	22.1	26.7

■表4 写真書換え通知はがき発送数と交付数(過去5年間)

(単位:件数、%)

	危険物取扱者			消防設備士		
	通知枚数	再交付数	書換率	通知枚数	再交付数	書換率
24年度	1,601	341	21.3	104	26	25
25年度	1,497	339	22.6	116	50	43.1
26年度	1,438	295	20.5	114	36	31.6
27年度	1,210	242	20	95	22	23.2

※再交付数は当該年度の7月~9月の間に再交付申請があったもの

### ○ おわりに

消防関係資格試験を取り巻く環境は引き続き厳しいものがあります。地域環境、経済状況とも関わり、受験者数の回復には一矢にしての有効打が見受けられないのが現状です。地域事情にあわせて、地道に対策を講じて行くほかないようです。これは当県支部に限らず、同じような県勢にある他支部にも共通する課題と思われまます。

引き続き、資格試験の有用性をPRし、関係教育機関や職場とのコミュニケーションを密にし、受験しやすい環境づくりに努めてまいりたいと思います。

## 年中行事と旧暦の話（その4）

本稿が諸兄姉のお手元に届くのは、あと少しで真夏になる時期だ。グ暦での7～8月は、旧暦では臯月の終わり頃～梅雨明けの水無月～立秋～文月の終わり頃である。

猛暑に向かう時節だ。諸兄姉は、この夏こそ「とりあえずビール」から卒業して、ホンモノの麦酒と麦水を選んで文化的に暮らし、生活の質（QoL）を高めてほしい。本連載の2014年7月～翌年5月号を復習して梅雨明けに備えられたい。

### ○「小暑」＝グ暦「タナバタ」

旧暦の「悪月」は、今年はグ暦7月3日に終わる。その後、7月7日（＝旧暦・水無月4日）が24節気の「小暑」だ。人間が「小さな」暑さだと呼んでも、天地自然は容赦ない。不快指数は高くなり、筆者などにはキツイ毎日となる。東京あたりでは、普通はまだ梅雨明けしない。こんな時期にグ暦ベースでタナバタを祝うなど珍奇な話だということは、もう皆さんは了解してくれていよう。

### ○「大暑」＝グ暦7月22日

グ暦7月22日が「大暑」で、旧暦では水無月19日。今年はグ暦18日が「海の日」。8月11日は「山の日」だ。皆さん海へ山へと繰り出していく。好天が続くことを、国民のため、消防防災関係者のため、お祈りしておこう。

### ○「文月」と「立秋」、そして「処暑」

旧暦・文月1日＝グ暦8月3日を経て、グ暦7日は「立秋」、そして23日が「処暑」だ。そこまで生き延びれば、ホッとできる気候となろうが、本稿の執筆は、まだ悪月の真ッ最中で、「夏至」の日になった。各地で痛ましい豪雨災害が起きていて、そんな先々の穏やかな気候に思いを巡らす余裕がない。頭に浮かぶのは風水害に絡んだ話ばかりである。

### ○「水無月」にも水がありますように！

この夏は猛暑に加え、水不足が懸念される。梅雨時に東京圏では水源地域での降雨が少なく、貯水量が大変少ない。

世間に出回っている新・旧暦併記と称するカレンダーでは、グ暦・6月に旧暦名称の「水無月」を付記していたりする。そういう無分別が罷り通っていることの報いか、グ暦・6月が、実際に水の無い月になってしまった。本当は「悪月」で、雨降りの不順な天候に悩む時節なのに…。

そして、いよいよホンモノの旧暦・水無月となる。今回はグ暦7月4日～8月2日まで。この間、節水を一層強化しつつ、季節外れだと言われても、雨乞いもしなけ

### 山下 茂（やました しげる）

明治大学 公共政策大学院ガバナンス研究科 教授。  
元自治省（現・総務省）消防大学校長

自治省（現・総務省）で地域政策室長・文書課長など、地方で栃木県総務部長・和歌山県副知事などのち、自治省消防大学校長に就任。さらに自治体国際化協会（CLAIR）パリ事務所長を経て、平成16年から現職。

『体系比較地方自治』（平成22年・ぎょうせい）『英国の地方自治』（平成27年・第一法規）『フランスの選挙』（平成18年・第一法規）など、地方自治関係の著書・論文のほか、ペンネームでのエッセイなども多数。

ればならない。それも風水害にはならない範囲で、だ。ヤオヨロズもの神々が、そういう面倒な自然運営を「水無月」に実現するよう相互に活動調整して下さるか？それが心配だ。

### ○消防防災関係の皆さん、健康管理に万全を！

こんな気象だと、異常温水と乾燥さらに猛暑の中で、林野火災や事業所での発災が増えるとともに、熱中症患者や水の事故の増大などで救急要請が増加する。それなのに、給水制限で消火栓の水圧低下、消防職団員の活動力への悪影響などが重なる。水涸れ状態でも、豪雨、雷や突風・竜巻など、いつもの風水害原因も油断できない。消防防災関係の皆さんは、本当に気の抜けない毎日だから、くれぐれもご自愛され、健康管理に万全を期して頂きたい。

### ○天命を待つ前に人事を尽くす！

科学が進歩したとは言っても、所詮は人間の知恵でしかない。その浅さは、九州での地震の折にも思い知らされた。筆者は、公務員の頃、防災に関係の深いポストについた折には、いつも「人事を尽くして天命を待つ」という心境だった。然るべき災害予防対策を十分に講じてのち、そのシメに、最後の抛り所たる神様頼みにも万全を期した。

役所を辞した今でも、各地域の守り神を訪ねると、ポケット・マネーからお賽銭を献じ、その地域の平穏無事をお願いする。そういう行動をとると、自分の心と頭がその方向にチューニングされる。行政実務を担っていた頃は、それで、よりよい防災対策を思いついたりしたものだ。

### ○神頼みの要諦

防災に関係しての神頼みには手間ヒマを惜しまないことが大切だ。まず地図を入手し、関係地域における神社の分布状況を把握する。各神社が標榜している得意分野についての情報があれば、そのうちで縁結びや受験の成功など個人的な案件だけを得意とする所は除外する。「雷電」神社はもちろん、「龍」などの文字が神社名に含まれる所は、風雨に関係が深いとみなす。田圃地帯で祀られる神様の多くは「田の神」様だが、大量の水をお求めになるので、水害を起こさずに稲の生育に頃合いの降雨となるよう、雷様と十分に情意を通じ合って頂くようお願いする。お祀りされた場所に着いたら、四方八方を観察し、何故そこにその神様が祀られたのか、そこが風水害に繋がる危険要因、起こりうる災害の態様などを、地理的条件その他から体得するよう努力する。それが防災対策に繋がるのだ。

### ○お賽銭はいかほどか？

それぞれの神様にお願ひする折、どの程度のお賽銭が頃合いか？どんなお願ひなら、どの程度の金額が頃合いか、標準的相場が公示されていない。個人的な商売繁盛とかの願掛けなら、お賽銭の多寡が御利益の水準に相関するのもかも知れない。しかし、災害防止という公益に関するお願ひでは、そういうことでもないだろう。自分の職業上の責務に関係するとはいえ、公益のために自分のポケットからお賽銭を献じるのだから、そこは神様も以心伝心、我が心意気を斟酌して下さると推測できる。

### ○筆者の「神頼み」経験談

筆者は、かつて、勤務地の県域全体について、夏の間の風水害抑止を神頼みして回った経験がある。地図を丹念に見たところ、県内全域で、雷様や龍神様をお祀りする神社が特に多いことに気が付いた。それで、とくに集中豪雨や落雷などの風水害を抑止すべく、機会あるごとに、あちこちお願ひして回ったのだ。

地図に鳥居マークのある地点を巡ってみると、ごく普通の平地、川のほとり、田圃地帯の真ん中、平地林の中、さらに小高い山の上など、神様が祀られる場所は様々だ。新鮮な雷様の銘産地として名高いだけのことはある。地図に鳥居マークがあっても、立派な鳥居や本殿、社務所のある所は稀れで、雷様が降臨した古傷の目立つ御神木とか、大きな岩とかに注連縄が張られているだけで、社殿らしきものが全く無いとか、賽銭箱も無いのは普通だった。

### ○筆者のお賽銭は一律に1カ所100円

そういう所でも、雨嵐に関わる神様が祀られていれば、筆者はお賽銭を献じた。賽銭箱が見当たらない場合も、その神様が気付いてくれそうな地点に、これ見よがしにお賽銭を置いてきた。神様の祀り方は、氏子側の諸事情や俗世間での評判によって決まることで、その盛大さ

が神様ご自身のお慈悲やお力と比例しているとは限らない。受験合格などが得意分野の神様の場合には、人々の個人的なお願ひをかなえて下さるお力を見て、参拝者もお賽銭も集まるのだろう。社殿や賽銭箱の大きさは、地域防災という「公益」へのお力添えと比例するわけではない。それゆえ筆者は、賽銭箱が無い所も含めて、献じる金額は1カ所100円に統一し、お願ひも「風水害防止」の一点張りとした。

それで費用対効果がどうなったか？諸兄姉は御自分の相場観も勘案して推測されたい。もう四半世紀前のことだが、この間の我が国経済はデフレ傾向で、お賽銭の相場観も大きくは変わっていないのではないかと、いろいろな点に思いを巡らせて御自分で考えることが研修にもなる。

### ○至誠、天に通ず！

途中省略。結果は、「至誠、天に通ず」だ。あの夏、あの県で、「雷都」を自認する町に居住しながら、筆者は一度も雷様に出会わなかったのだ。仕事でも、日常生活でも、ゴルフ場ですら、一夏の間に皆無。あれは摩訶不思議だった。

前年は、赴任した当日＝4月1日にいきなり、複数の雷様が大乱舞をされた。その後、ゴルフ場ではプレイ中断、キャンプ場では夕餉の支度を断念した。雷様には県内各地で頻繁にお出合いしたのだ。その翌年の鎮まり具合は、どう考えても、筆者の誠意ある神社巡り、金額は僅かでも真摯に献じられたお賽銭と、公益のための一心な祈りが、雷様たちに高く評価されたからに違いないのだ。あの夏、県内では風水害はごく稀れで、防災には、人事を尽くしてのち、神様たちにもキチンとお願ひをして、そして天命を待つことが大切だと、職場で理解されたものだった。

### ○ただし、副作用は甚大だった…

風水害は無かったのだが、この俗世、禍福はあざなえる縄の如し…。筆者が徹底して県内各地でお願ひしまくったので、雷様たちは活動をお控えになった。普段はお賽銭に縁が無い控えめな神様などは、100円硬貨にビックリして過剰に反応されたのかも知れない。結果、夏なのに十分に暑くならず、農作物に冷害が起きてしまったのだ。

諸兄姉は、「米は一粒たりとも輸入しない」という「国是」が厳然としてあるのに、冷害でお米が不足して、大激論の末、遂に米の輸入を解禁した年のことを覚えておられるだろうか？あれが、筆者の神社巡りの年なのだ。県政では、風水害関係の予算は要らなかったが、冷害に対処する農業関係補正予算を多額に計上する羽目になった。

あの時は、内心では、自分が神頼みをしたのが悪かったのか？と自責の念に駆られつつ、県議会の補正予算審議に臨んだものだった。「過ぎたるは及ばざるが如し」は、けだし明言だがなア…、と心中で煩悶しながら。(まだ続く)

# トピック top!c

## 危険物取扱者試験への挑戦から得たもの

～ Anyone has a chance to aim for the top ～ (誰もが上を目指すチャンスがある)

### 1 バラ色の高校生活が待っていると思いきや～

私は小・中学校の9年間、サッカー部に所属し勉強よりサッカー一筋の生徒でした。中学生の頃は特に将来の夢や目標も抱けず、「その勉強は将来使えるの?」と思いながら苦手な教科から逃げる日々を過ごしていました。沖縄工業高等学校工業化学科を志望した理由は、国際通りが近くすぐ繁華街に行け、遊べるからです。高校生活は街に出て遊び、今まで続けてきたサッカーをたくさんするというバラ色の理想を思い描いていました。しかし、現実はその甘くはありませんでした。いざ入学すると、7時半から資格対策のための早朝講座・20時までの放課後講習があり私の思い描いた高校生活とは程遠いものばかりで、工業化学科を選んだことを後悔しました。

### 2 危険物乙種4類と森山先生との出会い

本校工業化学科は、危険物取扱者乙種4類を工業高校の基本資格と位置づけており、平成22年より全員挑戦します。新入生が必ず通らなければならない関門が2つあります。危険物取扱者乙種4類全員合格と1年生の担任でなおかつ危険物を教える鬼の森山先生です。当時の私達はきっこう思っていたでしょう。「地獄が始まった。」と。しかし、今思い返せばこの危険物取扱者乙種4類と森山先生との出会いが私の人生の分岐点だったのかもしれない。

入学当時私は、森山先生や親に「国家資格は、将来仕事をするうえで必要」と言われ、嫌々ながら取り組んでいました。しかし講座に参加するにつれて興味・関心がわき、私自身驚くことにすごい勢いで理解できるようになりました。また「なぜそうなるのだろうか?じゃあこの場合は?」と先生の教えられたことに満足せず、深く追求するようになりました。原因と結果を探り、答えを自分で導くことが楽しくて仕方がありませんでした。このような考え方ができたのは、森山先生が今までの先生方とは



新垣 賢悟 あらかき けんご

沖縄県立沖縄工業高等学校  
工業化学科:平成27年度卒業  
ジュニアマイスター:241P(全国1位)

違ったあるテクニックを用いて講座を行ってくださったからです。

### 3 危険物乙種4類全員合格を目指しての勉強法

中学までの私達は、普通科目しか勉強していなかったので入学後すぐ国家資格に挑戦することに不安を持っていました。当初、国家資格の意味さえもわからない私達は、“どうせやっても無理、合格するはずがない”と諦めていた生徒が多かったと思います。私もその生徒の一人です。このようにネガティブになっている生徒に黒板を使ってテキストの説明と模擬問題で合格させることは厳しいです。講座を受けても専門用語ばかりで内容が理解できず、自分で勉強しようとしても“何をどうすればいいのか?”と先には進まず自信をなくします。これでは資格試験に合格するどころか、資格挑戦から逃げ、勉強嫌いを助長することになってしまいます。そこで森山先生は、テキスト一辺倒ではなく化学実験や消火器などの現物を取り入れ、何かに例えてテキスト内容を説明し、私達が飽きないように工夫して教えてくれました。また、私達が理解するまで何度も繰り返し説明し、オーバーリ



2013年度新入生危険物取扱者乙種4類全員合格!!

アクションにギャグを交えた説明はとても印象に残っています。やり過ぎだろうと思う事もありましたが、不思議なことにオーバーであればあるほど印象に残り、「また同じことを言っているよ」と思い苦勞せず暗記することができました。1年生全員が危険物乙種4類を全員合格できたのは、難しい内容を簡単に教えていただき、楽しく覚えることができたからです。

#### 4 これが噂の高速キャッチボールか!!

私を感じた講座での一番のテクニックは復習のさせ方です。森山先生はある程度参考書の内容を通すと、生徒一人一人の前に立ち、参考書の内容を口頭で質問し、答えさせるという至ってシンプルな復習方法を行います。しかし、あまりにも速い質問と返答のやり取りで「高速キャッチボール」と名付けられています。先輩たちも恐怖でいつも半泣きで取り組んでいたそうです。夢にまで現れてうなされる恐怖の講座とされています。この高速キャッチボールは、ただの質問ではなく、誰かが途中でミスをすると、最初からまたやり直しになります。つまりノーミスでクリアしない限り永遠に終わりません。また、正答だけではなく瞬時に答えることを先生から求められます。すばやく頭で考え、何回も繰り返すことでテキストの重要ポイントを暗記し、定着させるねらいがあるそうです。私自身死にものぐるいで暗記して臨みましたが、今思うと私達工業化学科生徒が面接等ですばやく返答できるのは、この経験のおかげだと思います。

#### 5 良きライバル下野君との出逢い

私が、ここまで目的意識を持ち、きつい資格取得等の勉強を頑張ることができたのは同級生の下野君のおかげです。下野君とは、お互いジュニアマイスター最高点を意識して、甲種危険物取扱者・高圧ガス・消防設備士などの資格に挑戦し競い合いました。

私が下野君を尊敬する理由は、硬式野球部に所属し、レギュラーを目指しながら文武両道でジュニアマイスター最高点も目指していたからです。私も科学部に所属

し、研究活動で資格取得の勉強時間をつくるのに苦勞していたので、泥だらけになりながら努力している下野君が励みになりました。私達は、一緒に勉強し、お互いで高速キャッチボールを行いどこまで覚えているのか確認し合い、切磋琢磨してきました。また試験前になると難問題を見つけ教え合う事もしてきました。ライバルでもあり、良きパートナーのような存在でした。私が、ジュニアマイスター経済産業大臣賞を頂けたのは下野君と競い合い、助け合ったからです。



新垣君(ジュニアマイスターで全国1位で経済産業大臣賞を受賞)  
下野君(右)・根路銘君(左)が理事長賞(全国10位以内)を受賞で地元新聞に掲載



青少年科学作品展で科学部が「セルロース系バイオマスの研究」で沖縄電力社長賞を受賞

#### 6 国家資格取得者になり“責任”を意識

私は、国家資格の取得で“責任”を意識するようになりました。私が取り組んだ国家資格はすべて人の命に大きく関与し、取扱いを間違えると大事故につながる資格です。例えば危険物取扱責任者乙種4類は、消防法別表第一に掲げられたガソリンなどの引火性液体を指定数量以上貯蔵・取扱うのに必要な資格です。無資格者が指定数量以上のガソリンを貯蔵・取扱うと何らかのトラブルで引火した場合、無資格者は性質・消火方法の知識は希薄なため、消火させるために水をかけてしまうかもしれません。注水することで燃焼が拡大し、自分の命どころか周りの人の命・財産まで奪いかねます。国民の生命と財産を犯す可能性のあるものには、国家試験に合格した専門的知識のある人に扱わせるようになっています。だからこそ私は、国家資格保持者として学習した知識をさらに磨き“責任”ある行動を意識するようになりました。



## 7 “夢”が見えた

当時の私はもう一人ライバル視している人がいました。それは、森山先生です。下野君と競い合い向上していった私の闘争心はさらに成長し、教える側である先生を越えたいと思うようになりました。まだ先生から教わっていない範囲を自分で勉強し、いつもとは違った視点で問題をとらえ、たくさん先生に質問していたのを覚えています。今思うと、他の生徒とは違う事をしていたので先生を困らせていたのかもしれませんが。

高校入学まで勉強に無関心で無欲だった私は、資格取得を通し勉強をすることの楽しさを知り「探究心」・「向上心」、「責任感」を養う事ができました。私達がここまで成長できたのは森山先生はじめ多くの先生方のおかげです。先生方は、私達の合格のために休まず毎日指導してくれました。感謝の言葉しかありません。

私は、先生に迷惑をかけた分負担をできるだけ軽くしようと思い、資格を仲間や後輩達に教えるようにしてきました。教える事は自分で勉強するよりも倍以上に難しいものであることを実感し、先生方のすごさと大変さがわかりました。しかし、難しいからこそ、理解してもらった時の嬉しさは格別で何にも代えがたいものでした。私が教えた仲間・後輩が合格した時は自分の合格よりも嬉しく感動したことを覚えています。

私は、当時高校卒業後は漠然とですが、本土の化学系企業を志望していました。しかし、勉強を教えることにやりがいを感じ、将来教師になる夢を強く抱くようになりました。私は、夢を叶えるために国立琉球大学教育学部に進学し、教師へのスキルを磨いています。大学では、資格を取り入れた学習指導が子供たちの学習意欲にどのように影響するか、またスポーツを通して子供たちに何を伝えるべきかを学びたいと思っています。今私は、



大学で模擬授業に奮闘中!!



母校で子供たちにサッカー指導中

母校の小学校のサッカー部で指導しています。日々子供たちに教えられる事ばかりです。大学4年間多くの経験を積み森山先生を超える教師を目指したいと思います。

## 8 最後にこの冊子を見ている高校生たちへ

皆さんは「勉強は学生のうちにしておいた方がいい」と言われたことはありませんか。私もよく親に言われてきました。私は、聞く耳を持たず、「学生のうちにいっぱい遊ぼう〜」「勉強より楽しいことがやりたい」と理由をつけ、勉強を後回しにしてきました。

しかし、資格試験のため受験会場に行った際に180度考えが変わりました。受験会場には、資格を取得しなければ仕事ができないという崖っぷちの大人の方が多く、会場のピリピリした雰囲気には私は初めて資格の重要さに気づきました。私達は、試験終了後よく社会人の方に声をかけられます。「今取れるうちに資格は取っておいたほうがいいぞ。就職したら勉強する時間が無いから大変するぞ」と資格の大切さをアドバイスされます。学生のうちに勉強しないと後悔し、苦勞することを受験した社会人の方に教わり、勉強に対する姿勢を見直すことができました。



3年間の頑張りを評価され  
沖縄県教育長賞を授与される

高校生のみなさん、国家資格の内容は、初めて聞く内容ばかりで見たことのないものが多いので最初は苦勞すると思います。

しかし、あきらめず最

後まで頑張ると普段の勉強よりも感動と達成感が生まれます。合格すると自信もつき、さらに上の資格を挑戦する気持ちになります。もし私が資格と出会わなければ努力することをせず、楽しいことだけやっていたはずです。資格挑戦から、やれば必ずできるという自信が芽生え、努力し続けることで将来、本当にやりたいことを見つけることができました。みなさん、これからの長い人生を悔いなく生きるために今を一生懸命頑張ってください。

遊ぶのはいつでもできます。ぜひ今は自分の将来のためにいろんなことにチャレンジしてください。きっと何かが見つかるはずです。僕がそうだったから～。心からエールをおくります!! がんばってください!!

### ●下野貴大君からひとこと

(ジュニアマイスター159P: 全国工業高等学校長協会理事長賞)

私は、1年生の時に甲種危険物取扱者試験に合格した時に神奈川の化学系企業で働きたいと強く思うようになり3年間硬式野球と勉学に励んできました。しかし、何度も挫折を経験し何度もやめようと思ったことがあります。しかし、友人の新垣君のおかげで乗り越えることができました。新垣君の常に現状に満足せず上を目指す彼の姿勢を私もまねて



一番の思い出は、森山先生と一緒に消防設備士全類を取得するために3人で長崎に甲種3類を受験したことです。

私の突然の腹痛で森山先生・新垣君だけではなく長崎県消防試験研究センターの方にもご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。新垣君と3年間、切磋琢磨した経験をこれからも活かしていきたいと思っています。すごい仲間と出逢えたことに感謝したいです。

### ●指導教諭からひとこと (元工業化学科教諭 森山 俊寿)

入学当初、危険物取扱者乙種4類を教えた時に理解力の速さだけではなく問題に対する洞察力がずば抜けており、平成24年ジュニアマイスター経済産業大臣賞を受賞した大城憂士君を超える逸材だと驚いたことを覚えています。3年間、全国1位をとるために己を律して頑張る姿は私にも大きな刺激になりました。また、私の代わりに工夫してクラスメートに教える姿は本物の教師のようでした。新垣君は、今教師になるために大学で頑張っていると聞きます。ぜひ夢を実現し、生徒の目線に立って行動できる愛のある教師になってほしいと思います。がんばれ!!

#### 新垣賢悟君の主な活動実績等

取得資格: 甲種危険物取扱者免状・甲種消防設備士 (甲種1類～甲種5類)

公害防止1種(水質)・1級ボイラー技士・高圧ガス2種冷凍機械

高圧ガス乙種機械・甲種火薬類取扱責任者・第2種電気工事士

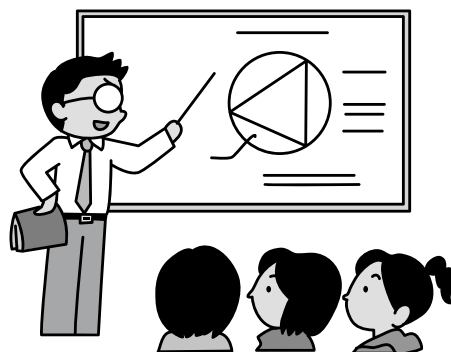
一般毒物劇物取扱責任者免状など

部活動: 科学部 (セルロース系バイオマス燃料の研究を行う)

第22回コココーラ環境教育賞 (優秀賞)

九州地区工業系生徒研究発表大会 (優秀賞)

沖縄県青少年科学作品展 (沖縄電力社長賞・環境奨励賞)



# 消防庁の通知・通達等

## ◆消防用設備等に係る執務資料の送付について(通知)

消防予第163号 平成28年5月16日

消防庁予防課長

各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長 あて

### 要旨

標記の件について、別添のとおり質疑応答をとりまとめましたので、執務上の参考としてください。各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対して、この旨周知していただきますようお願いいたします。

なお、本通知は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

別添

問1 令別表第1（5）項口に掲げる用途に供する部分のみで構成されている防火対象物の一部の住戸を宿泊施設として使用する場合、当該宿泊施設の床面積が、当該防火対象物の延べ面積の10分の1以下であり、かつ、300㎡未満であれば、規則第13条第1項第2号に規定する小規模特定用途複合防火対象物に該当することから、規則第28条の2第1項第5号の規定により、地階、無窓階及び11階以上の部分以外の部分には誘導灯の設置を要しないと解してよいか。

(答)

お見込みのとおり。

問2 令別表第1（5）項口に掲げる用途に供する部分のみで構成されている防火対象物の一部の住戸を宿泊施設として使用することにより、同表（16）項イに掲げる防火対象物（小規模特定用途複合防火対象物を除く。）となる場合であっても、次に掲げる要件を満たすものについては、令第32条の規定を適用し、当該宿泊施設の存する階のみに誘導灯を設置することで足りるとしてよいか。なお、当該防火対象物は地階、無窓階及び11階以上の階が存しないものである。

- 1 主要構造部が耐火構造であること。
- 2 住戸（宿泊施設として使用される部分を含む。3及び4において同じ。）が耐火構造の壁及び床で、200㎡以下に区画されていること。
- 3 住戸と共用部分を区画する壁に設けられる開口部には防火設備（主たる出入口に設けられるものにあつては、随時開くことができる自動閉鎖装置付の防火戸に限る。）が設けられていること。
- 4 3の開口部の面積の合計は、一の住戸につき4㎡以下であり、かつ、一の開口部の面積が2㎡以下であること。

(答)

差し支えない。

問3 令別表第1(5)項口に掲げる用途に供する部分のみで構成されている特定共同住宅等(「特定共同住宅等における必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令」(平成17年総務省令第40号。以下「40号省令」という。)第2条第1号に規定するものをいう。)の一部の住戸を宿泊施設として使用する場合に、次に掲げる要件を満たすものについては、令第32条の規定を適用し、40号省令に規定する必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等の設置を認めてよいか。

- 1 当該宿泊施設が100㎡以下で区画されていること。
- 2 当該宿泊施設の床面積が当該防火対象物の延べ面積の10分の1以下、かつ300㎡未満であること。

(答)

差し支えない。

## ◆平成27年中の危険物に係る事故に関する執務資料の送付について(通知)

消防危第107号 平成28年5月31日

消防庁危険物保安室長

各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長 へて

### 要旨

今般、平成27年中の危険物に係る事故の概要を別添のとおり取りまとめました。また、平成27年中の危険物に係る事故の主なポイント、指導上の留意事項等を下記のとおり、取りまとめましたので、執務上の参考として下さい。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村(消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。)に対してもこの旨周知くださいますようお願いいたします。

なお、本通知は消防組織法(昭和22年法律第226号)第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

### 1 平成27年中の危険物に係る事故の主なポイント

#### (1) 火災事故

##### ア 火災事故の発生及び被害の状況

前年と比較して危険物施設における火災事故の発生件数は12件増加しており、合計215件となっている。

施設別の火災事故発生件数については、一般取扱所、製造所、給油取扱所の順となっており、この3施設で全体の約94%(203件/215件)を占めている。1万施設当たりの火災事故の発生件数(以下、「火災事故の発生率」という。)の高い危険物施設は、製造所、一般取扱所の順になっており、近年この傾向は変わっていない。

##### イ 出火の原因に関係した物質

火災事故のうち、危険物が出火原因物質となる火災事故が約48%(103件/215件)を占めている。このうち、第4類の危険物が約91%(94件/103件)を占めている。

##### ウ 火災事故の発生原因及び着火原因

火災事故の発生原因では、維持管理不十分等の人的要因が約58%(124件/215件)と最も高い割合を占めている。主な着火原因では、高温表面熱が約19%(40件/215件)と最も高く、次いで静電気火花が約11%(23件/215件)の割合を占めている。

## (2) 流出事故

### ア 流出事故の発生及び被害の状況

前年と比較して危険物施設における流出事故の発生件数は31件減少しており、合計365件となっている。

施設別の流出事故件数については、一般取扱所、屋外タンク貯蔵所、給油取扱所の順となっており、この3施設で約62%（225件/365件）を占めている。平成27年中の流出事故については、主に一般取扱所、屋内タンク貯蔵所及び移送取扱所における流出事故の発生件数が増加している。一方、製造所及び移動タンク貯蔵所における流出事故の発生件数は、減少している。

1万施設当たりの流出事故の発生件数（以下、「流出事故の発生率」という。）の高い危険物施設は、移送取扱所、製造所、一般取扱所の順となっている。

### イ 流出した危険物

流出事故のうち、第4類の危険物は約97%（353件/365件）を占めており、これを品名別にみると、第1石油類が第4類のうち約36%（128件/353件）と最も高い割合を占めている。

### ウ 流出事故の発生原因

流出事故の発生原因は、物的要因が約54%（197件/365件）を占めている。このうち、腐食疲労等劣化によるものが約66%（131件/197件）を占めている。腐食疲労等劣化による流出事故が多い施設は、屋外タンク貯蔵所、一般取扱所及び地下タンク貯蔵所、給油取扱所の順となっている。

また、約39%（141件/365件）を占める人的要因についてみると、操作確認不十分によるものが32%（45件/141件）を占めている。

## 2 対策及び指導上の留意事項

### (1) 火災事故

火災事故件数が多く、かつ、火災事故の発生率の高い製造所及び一般取扱所に対して、維持管理不十分や操作確認不十分等の人的要因や、高温表面熱や静電気等火花による火災事故を防止するための対策を徹底することが重要である。

### (2) 流出事故

流出事故件数が多い、一般取扱所、屋外タンク貯蔵所及び給油取扱所、流出事故の発生率の高い移送取扱所、製造所に対して、腐食疲労等劣化や操作確認不十分による流出事故防止のための対策を徹底することが重要である。

### (3) その他

前述の統計データから見た事故防止対策を進めるとともに、危険物に係る業界団体、消防機関等により策定された「平成28年度危険物等事故防止対策実施要領」に基づき、事故防止対策を実施していくことが必要である。

なお、今後、事故の深刻度を考慮した分析結果や都道府県別の事故発生状況について公表する予定である。

※ 全文については、消防庁ホームページに掲載されておりますので参照ください。  
<http://www.fdma.go.jp/>

# 業務報告

## 4月の試験実施結果

### ■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	425	131	30.8
乙種第1類	134	97	72.4
乙種第2類	186	126	67.7
乙種第3類	235	172	73.2
乙種第4類	5,466	2,069	37.9
乙種第5類	181	134	74.0
乙種第6類	163	126	77.3
乙種計	6,365	2,724	42.8
丙種	224	152	67.9
合計	7,014	3,007	42.9

危険物取扱者試験実施支部等  
秋田、東京、長野、愛知、大阪

### ■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	0	0	0.0
甲種第1類	0	0	0.0
甲種第2類	0	0	0.0
甲種第3類	0	0	0.0
甲種第4類	0	0	0.0
甲種第5類	0	0	0.0
甲種計	0	0	0.0
乙種第1類	0	0	0.0
乙種第2類	0	0	0.0
乙種第3類	0	0	0.0
乙種第4類	0	0	0.0
乙種第5類	0	0	0.0
乙種第6類	446	224	50.2
乙種第7類	0	0	0.0
乙種計	446	224	50.2
合計	446	224	50.2

消防設備士試験実施支部等  
東京

## 4月中の免状作成状況

(単位:件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	8,836	8,836	3,861	3,861	12,697	12,697
本籍等の書換え	146	146	14	14	160	160
写真書換え	7,465	7,465	768	768	8,233	8,233
再交付	993	993	79	79	1,072	1,072
計	17,440	17,440	4,722	4,722	22,162	22,162

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

## 5月の試験実施結果

### ■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	1,459	459	31.5
乙種第1類	714	488	68.3
乙種第2類	687	482	70.2
乙種第3類	689	491	71.3
乙種第4類	12,080	3,897	32.3
乙種第5類	674	498	73.9
乙種第6類	778	530	68.1
乙種計	15,622	6,386	40.9
丙種	1,163	726	62.4
合計	18,244	7,571	41.5

#### □危険物取扱者試験実施支部等

北海道、秋田、埼玉、東京、神奈川、石川、岐阜、愛知、滋賀、京都、兵庫、奈良、佐賀

### ■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	91	17	18.7
甲種第1類	590	105	17.8
甲種第2類	175	79	45.1
甲種第3類	183	63	34.4
甲種第4類	595	257	43.2
甲種第5類	211	90	42.7
甲種計	1,845	611	33.1
乙種第1類	33	4	12.1
乙種第2類	12	7	58.3
乙種第3類	12	1	8.3
乙種第4類	431	159	36.9
乙種第5類	20	10	50.0
乙種第6類	299	110	36.8
乙種第7類	247	160	64.8
乙種計	1,054	451	42.8
合計	2,899	1,062	36.6

#### □消防設備士試験実施支部等

北海道、山形、東京

## 5月中の免状作成状況

(単位: 件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	3,861	12,697	1,437	5,298	5,298	17,995
本籍等の書換え	156	302	18	32	174	334
写真書換え	7,357	14,822	637	1,405	7,994	16,227
再交付	858	1,851	61	140	919	1,991
計	12,232	29,672	2,153	6,875	14,385	36,547

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

危険物取扱者試験日程（願書受付が8・9月にかかる日程分を抜粋）

支 部 名	試験日		受付期間				甲種	乙種						丙種
			電子申請		書面申請			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	
	月 日	曜日	開始日	締切日	開始日	締切日								
北海道	10月30日	日	9月13日	9月24日	9月16日	9月27日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月13日													
青 森	9月 3日	土	7月18日	8月 2日	7月21日	8月 5日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	9月 4日													
	9月11日													
	11月 5日	土	9月18日	10月 3日	9月21日	10月 6日								
	11月 6日													
	11月12日													
11月13日														
岩 手	10月22日	土	8月19日	8月27日	8月22日	8月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月29日													
秋 田	10月 2日	日	8月15日	8月27日	8月18日	8月30日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
山 形	10月 1日	土	8月12日	8月22日	8月15日	8月25日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月15日		8月26日	9月 5日	8月29日	9月 8日								
	10月29日		9月 9日	9月20日	9月12日	9月23日								
	11月12日		9月23日	10月 3日	9月26日	10月 6日								
福 島	10月15日	土	8月21日	8月30日	8月24日	9月 2日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月22日													
	11月12日													
茨 城	10月 1日	土	7月16日	7月31日	7月19日	8月 3日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月23日		8月27日	9月11日	8月30日	9月14日								
栃 木	11月 6日	日	9月 2日	9月13日	9月 5日	9月16日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
埼 玉	10月 2日	日	8月21日	9月 3日	8月24日	9月 6日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月 9日													
千 葉	11月20日	日	9月20日	10月14日	9月23日	10月17日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月27日													
	12月 4日													
東 京	9月19日	月	7月18日	7月29日	7月21日	8月 1日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	9月25日	日	7月25日	8月 5日	7月28日	8月 8日								
	10月 1日	土	8月 1日	8月12日	8月 4日	8月15日								
	10月29日		8月29日	9月 9日	9月 1日	9月12日								
	11月 3日	木	9月 5日	9月16日	9月 8日	9月19日								
	11月 6日	日	9月12日	9月23日	9月15日	9月26日								
	11月13日		9月19日	9月30日	9月22日	10月 3日								
	11月19日	土	9月23日	10月 4日	9月26日	10月 7日								
	11月26日		9月23日	10月 4日	9月26日	10月 7日								
11月27日	日	9月23日	10月 4日	9月26日	10月 7日									
神 奈 川	11月 6日	日	9月 9日	9月30日	9月12日	10月 3日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月15日	土	8月28日	9月 6日	8月31日	9月 9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月16日						乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
	10月23日	日	8月28日	9月 6日	8月31日	9月 9日	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
	10月30日						乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種	
石 川	10月16日	日	8月26日	9月 4日	8月29日	9月 7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月23日													
	10月30日													
	11月 6日													
福 井	10月16日	日	8月29日	9月 5日	9月 1日	9月 8日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月23日													
山 梨	10月16日	土	9月 2日	9月 9日	9月 5日	9月12日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月22日													
長 野	10月 2日	日	7月30日	8月15日	8月 2日	8月18日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	10月16日													
	10月23日													
	10月30日													
岐 阜	11月 6日	日	9月26日	10月 4日	9月29日	10月 7日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月13日													
静 岡	11月 6日	日	8月29日	9月 6日	9月 1日	9月 9日	甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
	11月13日													



滋賀	10月23日	日	9月4日	9月13日	9月7日	9月16日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
京都	10月30日 11月6日	日	8月16日	8月26日	8月19日	8月29日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
大阪	10月2日	日	8月21日	8月28日	8月24日	8月31日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
兵庫	10月2日	日	8月7日	8月19日	8月10日	8月22日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
和歌山	10月23日	日	8月20日	8月29日	8月23日	9月1日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
鳥取	10月16日 10月23日	日	8月19日	9月2日	8月22日	9月5日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
鳥根	11月6日 11月13日	日	9月3日	9月17日	9月6日	9月20日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
岡山	11月27日	日	9月23日	10月2日	9月26日	10月5日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
山口	11月20日	日	9月3日	9月17日	9月6日	9月20日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
徳島	11月27日	日	9月24日	10月1日	9月27日	10月4日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
香川	11月5日 11月6日	土 日	8月29日	9月9日	9月1日	9月12日	— 甲種	— Z1	— Z2	— Z3	Z4 —	— Z5	— Z6	— 丙種
愛媛	10月30日	日	8月30日	9月9日	9月2日	9月12日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
高知	10月30日 11月6日	日	9月11日	9月27日	9月14日	9月30日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
福岡	10月23日 11月6日	日	8月20日	9月3日	8月23日	9月6日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
佐賀	12月4日	日	9月30日	10月11日	10月3日	10月14日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
長崎	11月23日	水	9月9日	9月20日	9月12日	9月23日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
熊本	11月6日	日	9月4日	9月11日	9月7日	9月14日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
大分	11月20日	日	9月18日	10月2日	9月21日	10月5日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
宮崎	11月20日	日	9月12日	9月27日	9月15日	9月30日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種
鹿児島	11月19日	土	9月26日	10月8日	9月29日	10月11日	甲種	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	丙種

消防設備士試験日程（願書受付が8・9月にかかる日程分を抜粋）																					
支 部 名	試験日		受付期間				甲 種					乙 種									
			電子申請		書面申請		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		
	月 日	曜 日	開始日	締切日	開始日	締切日															
北海道	10月30日 11月13日	日	9月13日	9月24日	9月16日	9月27日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7		
宮 城	11月5日	土	9月10日	9月20日	9月13日	9月23日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7		
秋 田	11月6日	日	9月18日	9月30日	9月21日	10月3日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7		
東 京	9月17日	土	7月18日	7月29日	7月21日	8月1日	—	甲1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	9月24日		7月25日	8月5日	7月28日	8月8日		甲4												—	—
	10月2日	日	8月1日	8月12日	8月4日	8月15日	—	—	—	—	—	—	Z1	Z2	Z3	—	—	—	Z6	—	
	10月30日		8月29日	9月9日	9月1日	9月12日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	Z5	—	
	11月5日		土	9月5日	9月16日	9月8日	9月19日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	Z4	Z7
	11月12日			9月12日	9月23日	9月15日	9月26日	甲1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11月20日	日	9月19日	9月30日	9月22日	10月3日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
新 潟	10月16日	日	8月28日	9月11日	8月31日	9月14日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7		
兵 庫	11月6日	日	8月29日	9月13日	9月1日	9月16日	—	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7		
奈 良	9月22日	木	8月9日	8月16日	8月12日	8月19日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7		
鳥 取	11月20日	日	9月23日	10月8日	9月26日	10月11日	—	甲1	—	—	甲4	—	Z1	—	—	Z4	—	Z6	Z7		
沖 縄	10月30日	日	9月20日	9月27日	9月23日	9月30日	特類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	Z1	Z2	Z3	Z4	Z5	Z6	Z7		

Voice...

## 編集後記

2016 July

今年は4年に一度の国際的なスポーツの祭典の年、ブラジルのリオデジャネイロでオリンピック（8月5日～21日）、パラリンピック（9月7日～18日）が開催されます。日本選手団の活躍が大いに期待されます。日本と12時間もの時差がある地です。リアルタイムでのテレビ放映にきげ付きになり過ぎないように、くれぐれも体調管理にはご留意下さい。

梅雨に入ってから不安定な気象下であり、九州から中国地方にかけて大雨が続く、浸水、土砂崩れ等により被害が生じています。一方、関東では雨が少なく水不足が心配されています。大きな災害が起こらないことを願うばかりです。

今年の夏は、これまでにない猛暑（酷暑？）になると予報されています。十分な水分補給に努めるなど熱中症にならないように留意し、楽しい夏を満喫されることをお祈りしています。

都道府県  
後援:消防庁

人と社会を守ります。

誇れる資格が、

河北麻友子

# 免状更新は 10年ごとです。

危険物  
取扱者

危険物取扱者免状**見本**

氏名	河野 太郎	本籍	神奈川県
生年月日	昭和55年10月5日	交付期限	交付期限
種別	交付年月日	交付番号	交付記号
危険物			
乙種第1類			
乙種第2類	H18.04.01	00300	東京
乙種第3類			
乙種第4類			
乙種第5類			
乙種第6類			
乙種第7類			
乙種第8類			
乙種第9類			
乙種第10類			
乙種第11類			
乙種第12類			
乙種第13類			
乙種第14類			
乙種第15類			
乙種第16類			
乙種第17類			
乙種第18類			
乙種第19類			
乙種第20類			
乙種第21類			
乙種第22類			
乙種第23類			
乙種第24類			
乙種第25類			
乙種第26類			
乙種第27類			
乙種第28類			
乙種第29類			
乙種第30類			
乙種第31類			
乙種第32類			
乙種第33類			
乙種第34類			
乙種第35類			
乙種第36類			
乙種第37類			
乙種第38類			
乙種第39類			
乙種第40類			
乙種第41類			
乙種第42類			
乙種第43類			
乙種第44類			
乙種第45類			
乙種第46類			
乙種第47類			
乙種第48類			
乙種第49類			
乙種第50類			
乙種第51類			
乙種第52類			
乙種第53類			
乙種第54類			
乙種第55類			
乙種第56類			
乙種第57類			
乙種第58類			
乙種第59類			
乙種第60類			
乙種第61類			
乙種第62類			
乙種第63類			
乙種第64類			
乙種第65類			
乙種第66類			
乙種第67類			
乙種第68類			
乙種第69類			
乙種第70類			
乙種第71類			
乙種第72類			
乙種第73類			
乙種第74類			
乙種第75類			
乙種第76類			
乙種第77類			
乙種第78類			
乙種第79類			
乙種第80類			
乙種第81類			
乙種第82類			
乙種第83類			
乙種第84類			
乙種第85類			
乙種第86類			
乙種第87類			
乙種第88類			
乙種第89類			
乙種第90類			
乙種第91類			
乙種第92類			
乙種第93類			
乙種第94類			
乙種第95類			
乙種第96類			
乙種第97類			
乙種第98類			
乙種第99類			
乙種第100類			

消防  
設備士

消防設備士免状**見本**

氏名	河野 太郎	本籍	神奈川県
生年月日	昭和55年10月5日	交付期限	交付期限
種別	交付年月日	交付番号	交付記号
危険物			
乙種第1類			
乙種第2類			
乙種第3類			
乙種第4類			
乙種第5類			
乙種第6類			
乙種第7類			
乙種第8類			
乙種第9類			
乙種第10類			
乙種第11類			
乙種第12類			
乙種第13類			
乙種第14類			
乙種第15類			
乙種第16類			
乙種第17類			
乙種第18類			
乙種第19類			
乙種第20類			
乙種第21類			
乙種第22類			
乙種第23類			
乙種第24類			
乙種第25類			
乙種第26類			
乙種第27類			
乙種第28類			
乙種第29類			
乙種第30類			
乙種第31類			
乙種第32類			
乙種第33類			
乙種第34類			
乙種第35類			
乙種第36類			
乙種第37類			
乙種第38類			
乙種第39類			
乙種第40類			
乙種第41類			
乙種第42類			
乙種第43類			
乙種第44類			
乙種第45類			
乙種第46類			
乙種第47類			
乙種第48類			
乙種第49類			
乙種第50類			
乙種第51類			
乙種第52類			
乙種第53類			
乙種第54類			
乙種第55類			
乙種第56類			
乙種第57類			
乙種第58類			
乙種第59類			
乙種第60類			
乙種第61類			
乙種第62類			
乙種第63類			
乙種第64類			
乙種第65類			
乙種第66類			
乙種第67類			
乙種第68類			
乙種第69類			
乙種第70類			
乙種第71類			
乙種第72類			
乙種第73類			
乙種第74類			
乙種第75類			
乙種第76類			
乙種第77類			
乙種第78類			
乙種第79類			
乙種第80類			
乙種第81類			
乙種第82類			
乙種第83類			
乙種第84類			
乙種第85類			
乙種第86類			
乙種第87類			
乙種第88類			
乙種第89類			
乙種第90類			
乙種第91類			
乙種第92類			
乙種第93類			
乙種第94類			
乙種第95類			
乙種第96類			
乙種第97類			
乙種第98類			
乙種第99類			
乙種第100類			

平成18年以前の免状をお持ちの方は速やかに更新手続き行ってください。

制作: (一財)消防試験研究センター <http://www.shoubo-shiken.or.jp/>



消防試験研究センターだより

# Voice...

vol.355 平成28年7月発行

編集・発行

一般財団法人消防試験研究センター

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番2号 大同生命霞が関ビル19階

TEL.050(3803)9279(企画研究部)/ FAX.03(5511)2751

ホームページ <http://www.shoubo-shiken.or.jp/>

モバイルサイト <http://www.shoubo-shiken.or.jp/m/>